

2021年度の 生乳及び牛乳乳製品の需給見通しと 取り巻く環境について

2021年2月15日（月）～17日（水）（WEB開催）



一般社団法人 Jミルク
Japan Dairy Association (J-milk)

はじめに

- 2020年度については、新型コロナの影響によって春の大幅緩和～夏のひっ迫と、生乳需給は短期的に大きく変動した。※年度末も再び緩和が想定される。
- 2021年度についても、新型コロナの影響によって需要動向が不透明な中、短期的な需給変動がより大きくなる可能性もある。
- 業界内で現状の課題認識を共有した上で、引き続き一丸となった対応を図って参りたい。

ご説明項目

I. 2021年度需給見通し

II. 需給を取り巻く環境

III. 今後の課題と対応

IV. 資料編

I. 2021年度需給見通し

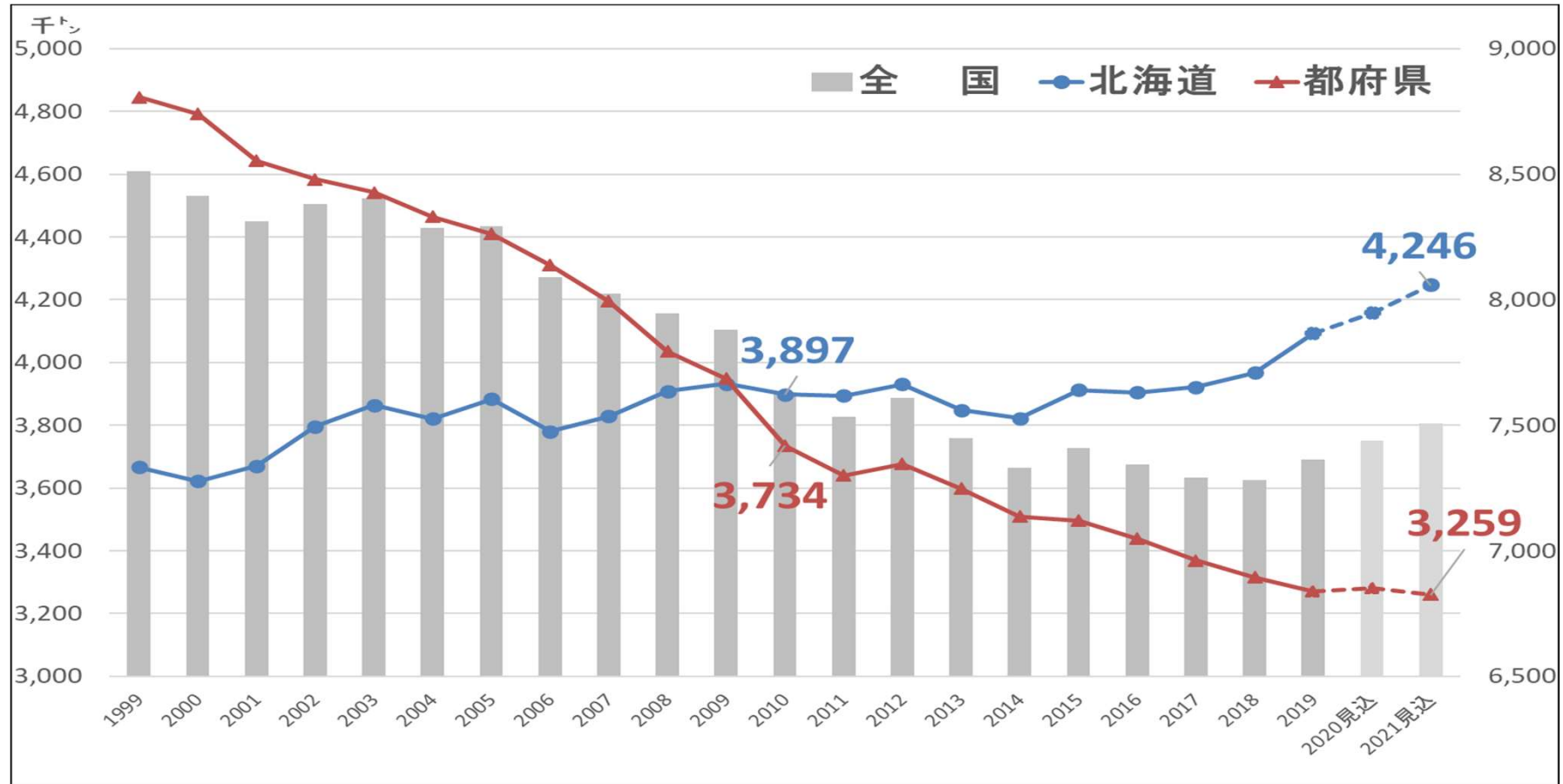
1. 生乳生産量（2021年度）

（千トン）

	全 国		北 海 道		都 府 県	
		前年比		前年比		前年比
4 月	638	100.5%	349	101.1%	289	99.9%
5 月	661	100.5%	366	101.3%	295	99.6%
6 月	632	101.4%	359	102.6%	274	100.0%
7 月	630	100.3%	365	102.2%	265	97.8%
8 月	614	101.0%	357	101.6%	257	100.2%
9 月	597	101.3%	344	101.9%	253	100.6%
10 月	617	100.8%	352	102.0%	265	99.3%
11 月	599	100.9%	340	102.3%	259	99.1%
12 月	630	100.9%	357	102.5%	273	99.0%
1 月	640	101.0%	361	102.6%	279	99.0%
2 月	588	101.1%	330	102.8%	258	99.0%
3 月	661	101.1%	368	103.0%	293	98.9%
年度計	7,506	100.9%	4,246	102.1%	3,259	99.4%

全国では3年連続、北海道は5年連続の増産見通し。都府県は20年度を若干下回る見通し。
 ※国の増頭対策（21年度）による北海道から都府県への牛の移動は加味していない。

《参考》生乳生産推移 全国・北海道・都府県



※出典 牛乳乳製品統計。2020～21年度はJミルク予測

2010年度に北海道と都府県の生乳生産量が逆転
2021年度の北海道と都府県の乳量差はさらに拡大する見通し

2. 牛乳等生産量（2021年度）

(千kl)

	牛乳類		牛乳										加工乳		成分調整牛乳		乳飲料		はっ酵乳	
			牛乳		学乳		学乳以外		うち、業務用		うち、業務用以外									
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
	4月	378	103.1%	260	106.5%	27	502.3%	233	97.6%	24	119.5%	209	95.6%	9	148.4%	22	90.2%	86	94.3%	92
5月	407	104.7%	280	108.8%	34	555.0%	246	97.8%	24	136.0%	222	95.0%	9	124.9%	24	91.6%	94	96.0%	94	98.9%
6月	408	98.8%	281	99.6%	39	110.8%	242	98.0%	22	100.2%	220	97.8%	9	107.8%	24	99.8%	94	95.5%	92	101.0%
7月	414	99.7%	278	98.2%	24	68.7%	254	102.3%	22	95.2%	232	103.1%	9	106.0%	26	105.8%	101	102.1%	91	101.4%
8月	399	97.4%	262	95.8%	6	34.5%	257	99.6%	23	98.3%	234	99.7%	9	107.0%	25	102.1%	102	99.8%	88	99.6%
9月	418	100.9%	284	100.9%	34	95.0%	250	101.8%	26	100.1%	224	101.9%	9	94.3%	24	101.9%	101	101.5%	88	102.6%
10月	414	101.7%	286	101.4%	36	93.2%	250	102.8%	27	101.8%	223	102.9%	9	92.4%	24	103.4%	95	103.1%	89	101.0%
11月	381	99.5%	270	100.7%	36	101.6%	234	100.6%	27	99.0%	207	100.8%	9	88.0%	21	97.3%	81	97.5%	84	100.4%
12月	364	99.2%	259	100.3%	29	99.4%	230	100.4%	26	105.1%	203	99.8%	9	87.9%	21	97.1%	76	97.6%	81	100.4%
1月	365	98.6%	260	99.4%	30	99.4%	230	99.4%	23	104.5%	206	98.8%	8	87.5%	21	97.0%	75	97.6%	86	100.3%
2月	344	99.4%	247	100.6%	34	99.5%	213	100.7%	22	99.3%	191	100.9%	8	87.4%	20	97.0%	70	97.7%	82	100.3%
3月	370	99.4%	259	100.4%	24	94.7%	235	101.0%	25	99.8%	210	101.2%	9	93.0%	21	96.9%	81	97.7%	92	100.2%
年度計	4,662	100.2%	3,224	101.0%	352	108.0%	2,872	100.2%	291	103.9%	2,581	99.7%	109	99.9%	272	98.3%	1,057	98.5%	1,061	100.3%

牛乳のうち「業務用以外（家庭向）」は20年度並み、「業務用」は20年度から若干回復、「学乳」は19年度水準として見込んだ。

3. 用途別処理量（2021年度）

（千トン）

	生乳供給量		飲用等向		乳製品向 (認定ベース)		脱脂粉乳・バター等向		チーズ向		生クリーム等向	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
4月	634	100.5%	332	104.1%	302	96.9%	162	88.0%	34	94.1%	106	115.8%
5月	657	100.5%	360	106.0%	296	94.5%	153	88.1%	39	94.1%	105	105.9%
6月	629	101.4%	358	99.5%	270	104.1%	135	106.1%	34	101.9%	101	102.2%
7月	626	100.3%	362	99.1%	264	101.9%	126	102.2%	32	102.0%	105	101.5%
8月	610	101.0%	338	96.7%	272	107.0%	138	112.6%	33	102.0%	100	101.6%
9月	593	101.3%	363	101.0%	230	101.7%	99	101.8%	32	102.0%	99	101.6%
10月	614	100.8%	363	101.6%	251	99.8%	113	98.0%	32	102.0%	106	101.0%
11月	595	100.9%	335	100.3%	260	101.7%	124	102.9%	32	102.2%	104	100.2%
12月	626	100.9%	323	99.9%	303	102.0%	160	103.9%	35	97.1%	108	101.1%
1月	636	101.0%	332	99.1%	304	103.1%	172	104.6%	36	102.8%	96	100.6%
2月	584	101.1%	310	100.1%	275	102.2%	143	102.7%	35	103.6%	97	100.9%
3月	657	101.1%	329	100.0%	328	102.3%	187	103.8%	37	103.2%	105	99.5%
年度計	7,461	100.9%	4,107	100.6%	3,354	101.3%	1,712	100.6%	411	100.4%	1,232	102.6%

生乳増産に伴い、飲用等向が堅調に推移しても乳製品向は20年度を上回る見通し。年末年始、年度末の脱粉・バター等向処理量は非常に高い水準となる見込み。

4. 都府県の需給見通し（2021年度）

（千トン）

	生乳供給量		飲用等向 処理量		生クリーム等向・ チーズ向		A-B-C	移入量 (道外移出量)D		脱脂粉乳・ バター等向	
	A	前年比	B	前年比	C	前年比			前年比		前年比
4月	287	99.9%	288	104.1%	7	127.2%	-7	32	105.1%	25	68.5%
5月	293	99.6%	314	106.6%	5	109.1%	-26	43	140.9%	17	66.2%
6月	272	100.0%	310	99.9%	5	102.8%	-44	54	99.9%	10	100.0%
7月	263	97.8%	312	99.0%	5	101.7%	-53	63	102.7%	10	88.1%
8月	255	100.2%	289	96.7%	5	101.8%	-39	50	82.8%	11	100.0%
9月	251	100.5%	312	102.4%	5	101.8%	-66	69	108.1%	4	79.2%
10月	263	99.3%	313	101.6%	5	100.8%	-55	62	108.4%	7	77.5%
11月	257	99.1%	289	100.0%	5	99.5%	-37	46	103.6%	9	91.6%
12月	271	99.0%	278	99.8%	7	100.9%	-14	41	112.8%	27	109.5%
1月	277	99.0%	286	98.9%	5	100.1%	-15	37	98.8%	23	98.7%
2月	256	99.0%	268	100.1%	5	100.7%	-16	33	104.5%	17	92.7%
3月	291	98.9%	282	99.9%	6	99.1%	3	31	110.7%	34	100.4%
年度計	3,238	99.4%	3,541	100.7%	66	103.6%	-369	561	104.7%	192	88.8%

道外移出量は2020年度過去最高の見通しであるが、2021年度は更に増加する見通し。

5. 脱脂粉乳・バター供需動向

(1) 前提条件

① Jミルク1/29公表数値

2021年度の輸入枠数量は加味していない。

- 脱脂粉乳は、2020年度残量0.75千トン（日米貿易協定に基づく義務数量）

TPP11、BEU・EPA枠分を除く民間貿易0.3千トン

合計=1.1千トン

- バターは、2020年度残量1.2千トン

TPP11、BEU・EPA枠分を除く民間貿易0.5千トン

合計=1.7千トン

② 輸入枠数量を加味した数値

Jミルク1/29公表数値に2021年度の輸入枠数量

脱脂粉乳0.75千トン・バター6.4千トンを加味した数値も掲載。

※その他（国による支援対策について）

- 脱脂粉乳は飼料用等への活用対策が進められているところであり、

2021年度末までに24千トンが削減される見通し。

（2020年11月までに約3千トン消化済み）。

- 新たに措置されたバター・脱粉の活用拡大に係る支援対策については

加味していない。

(2) 脱脂粉乳の需給 製品ベース・生乳ベース (2021年度)

青字：Jミルク1/29公表数値

紫字：1/29農林水産省公表の2021年度輸入枠数量0.75千トンを加味

①製品ベース

※下記計算式における小数点第二位以下は四捨五入している

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し C	過不足 B+C-D	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比			A+B+C-D	月数	前年比	D	前年比
年度計	89.6	117.5%	140.5	100.7%	1.1	9.2	98.8	9.3	110.3%	132.3	103.3%
							77.8	7.3	86.9%		
							※脱粉対策(24千ト)後の在庫量				
年度計	89.6	117.5%	140.5	100.7%	1.8	10.0	99.6	9.4	111.2%	132.3	103.3%
							78.6	7.4	87.7%		

②生乳ベース

※脱粉対策(24千ト)後の在庫量

脱脂粉乳 ベース	生乳供給量		生乳需要量				生乳供給量と 生乳需要量 の差 C=A-B	輸入売渡し (生乳換算) D	輸入売渡し 後の過不足 (生乳換算) C+D		
	A	前年比	B	前年比	飲用等向					乳製品向	
2021年度	7,461	100.9%	7,361	101.5%	4,107	100.6%	3,255	101.3%	99	13	113
2021年度	7,461	100.9%	7,361	101.5%	4,107	100.6%	3,255	101.3%	99	22	122

輸入枠全量が年度内に売渡されると仮定すると、
製品ベースでは、10千トンの過剰、生乳ベースでは122千トンの過剰

(3) バターの需給 製品ベース・生乳ベース (2021年度)

青字：Jミルク1/29公表数値

紫字：1/29農林水産省公表の2021年度輸入枠数量6.4千トンを加味

①製品ベース

※下記計算式における小数点第二位以下は四捨五入している

(千トン)

	期首在庫量		生産量		輸入 売渡し C	過不足 B+C-D	期末在庫量			推定出回り量	
	A	前年比	B	前年比			A+B+C-D	月数	前年比	D	前年比
年度計	39.6	137.6%	73.6	102.9%	1.7	-1.2	38.4	5.6	97.0%	76.4	103.0%
年度計	39.6	137.6%	73.6	102.9%	8.1	5.2	44.8	6.6	113.2%	76.4	103.0%

②生乳ベース

(千トン)

バター ベース	生乳供給量		生乳需要量				生乳供給量と 生乳需要量 の差 C=A-B	輸入売渡し (生乳換算) D	輸入売渡し 後の過不足 (生乳換算) C+D		
	A	前年比	B	前年比	飲用等向	乳製品向					
					前年比	前年比					
2021年度	7,461	100.9%	7,528	100.9%	4,107	100.6%	3,421	101.3%	▲ 67	39	▲ 27
2021年度	7,461	100.9%	7,528	100.9%	4,107	100.6%	3,421	101.3%	▲ 67	188	122

輸入枠全量が年度内に売渡されると仮定すると
製品ベースでは、5.2千トンの過剰、生乳ベースでは122千トンの過剰

(4) 補足

①2021年度の輸入枠数量

脱脂粉乳0.75千トン・バター6.4千トンは、生乳換算にすると
脱脂粉乳5千トン、バター79千トン 合計 約84千トン

②カレントアクセスでの義務付けられているのは、
生乳換算で約137千トン

③残りは、ホエイ4.5千トン、バターオイル1.5千トンに振り向けられる。
※生乳換算でホエイ31千トン、バターオイル23千トン

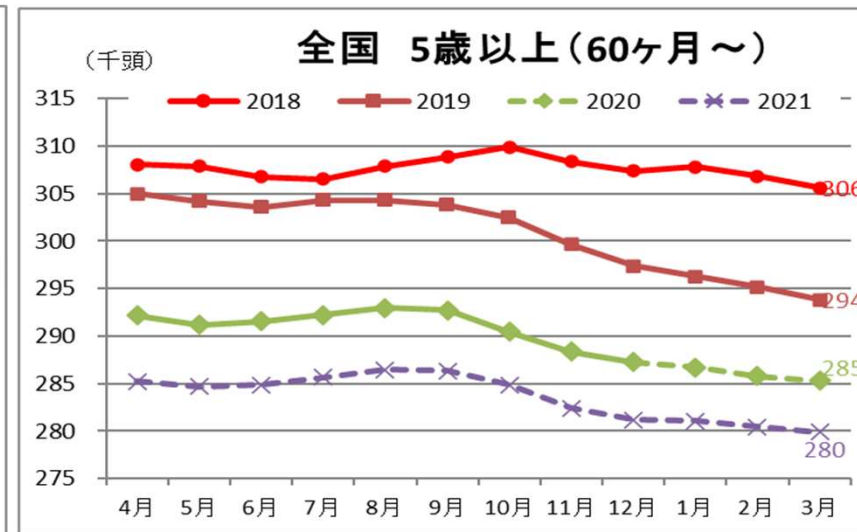
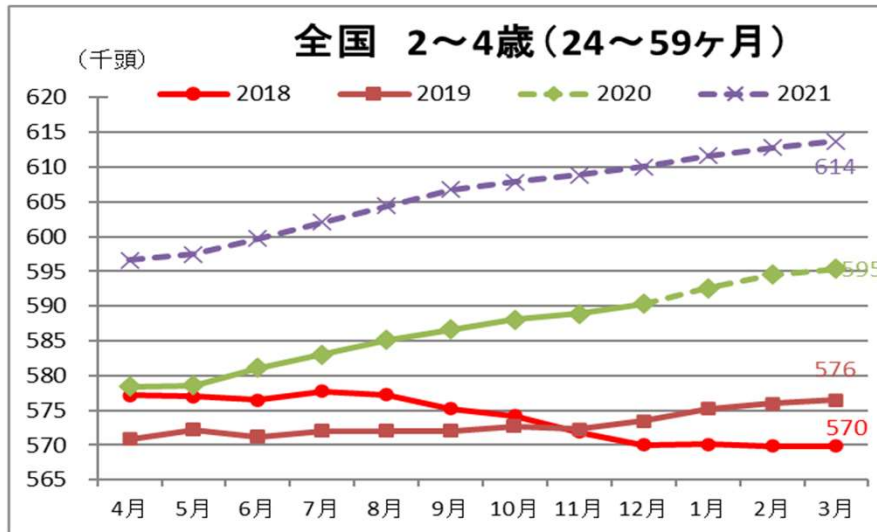
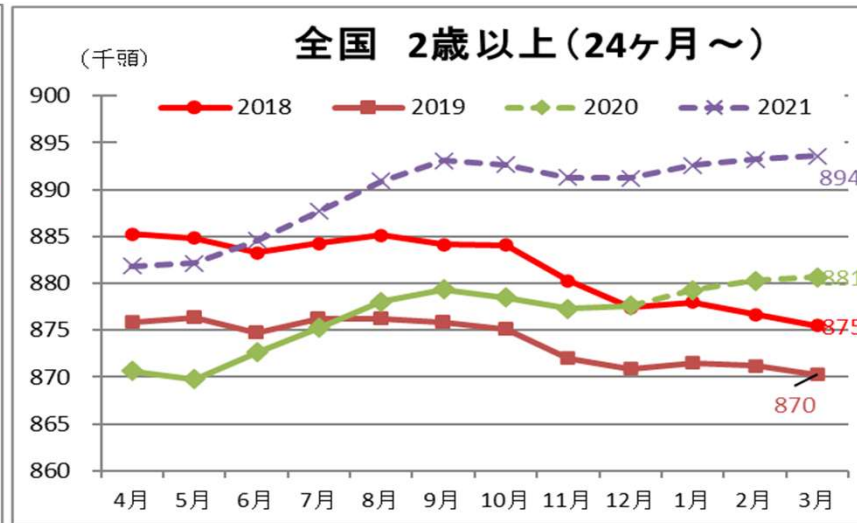
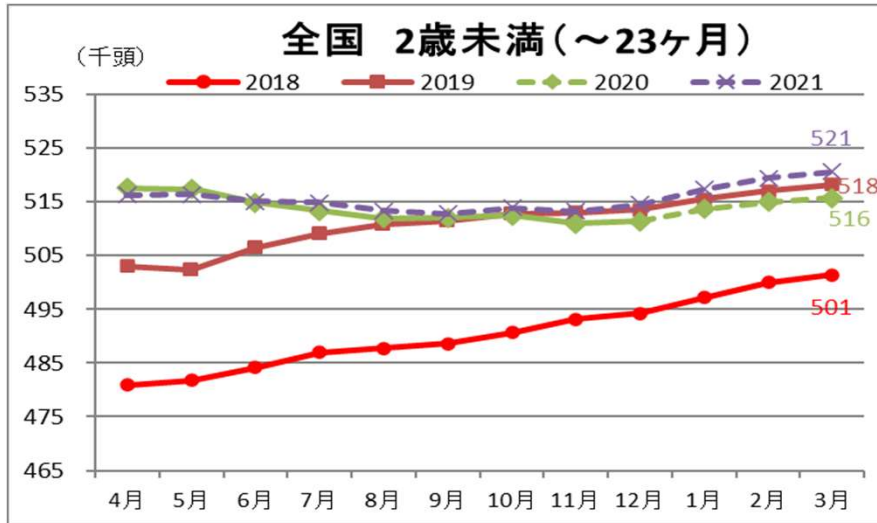
④5月、9月は輸入乳製品枠の検証時期となるため、それぞれの時期の
需給動向を踏まえ、設定された輸入枠数量が適切か検討し、必要が
あれば見直すこととなっている。

※2020度

- 脱脂粉乳枠は5月に見直し
4千トン⇒0.75千トン（日米枠分のみ）に削減した。
- バター枠は9月に見直し
20千トン⇒14千トンに削減した。

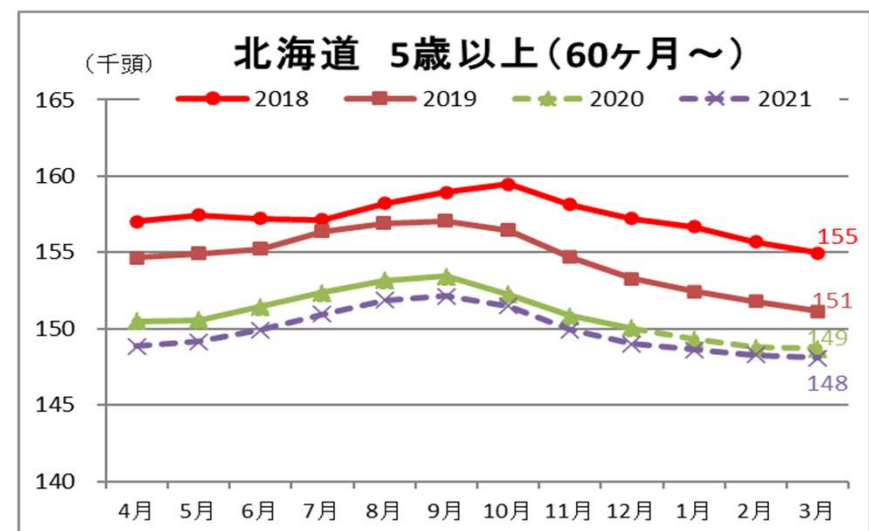
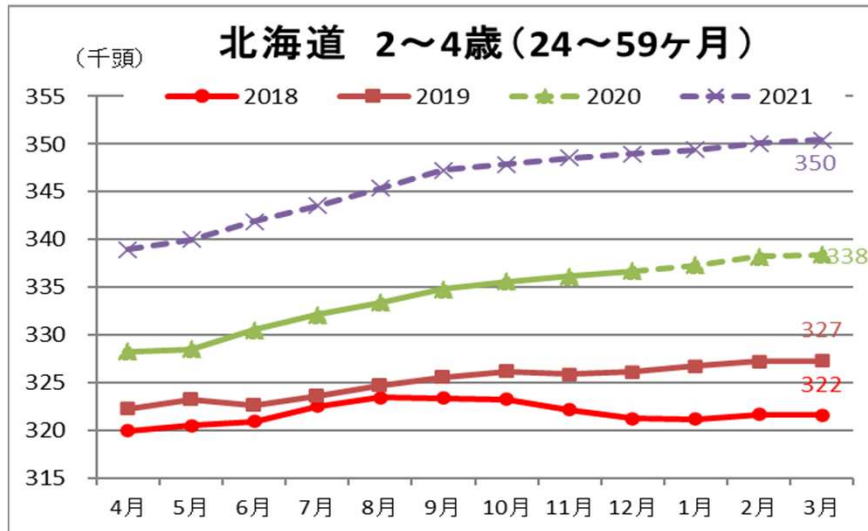
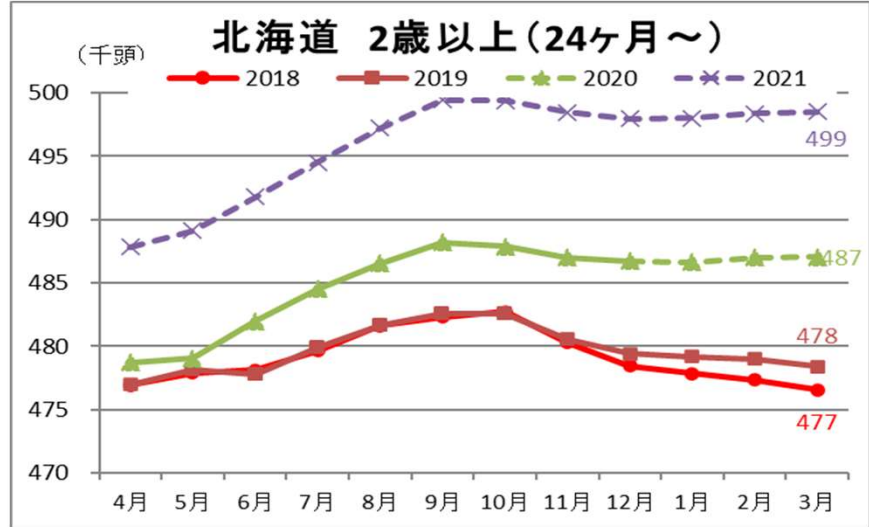
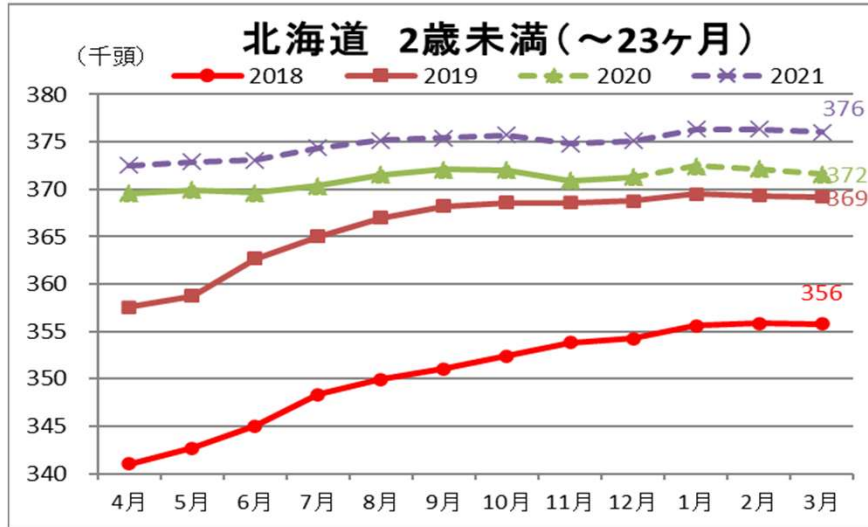
Ⅱ. 需給を取り巻く環境

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 全国



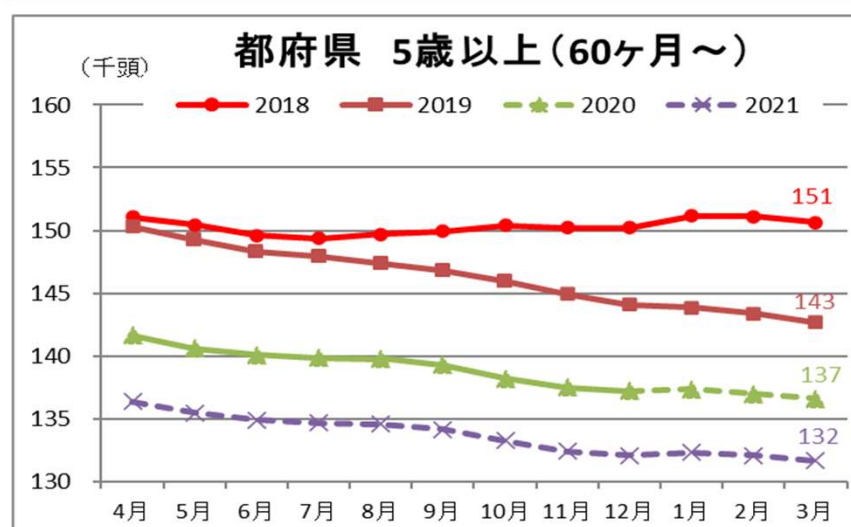
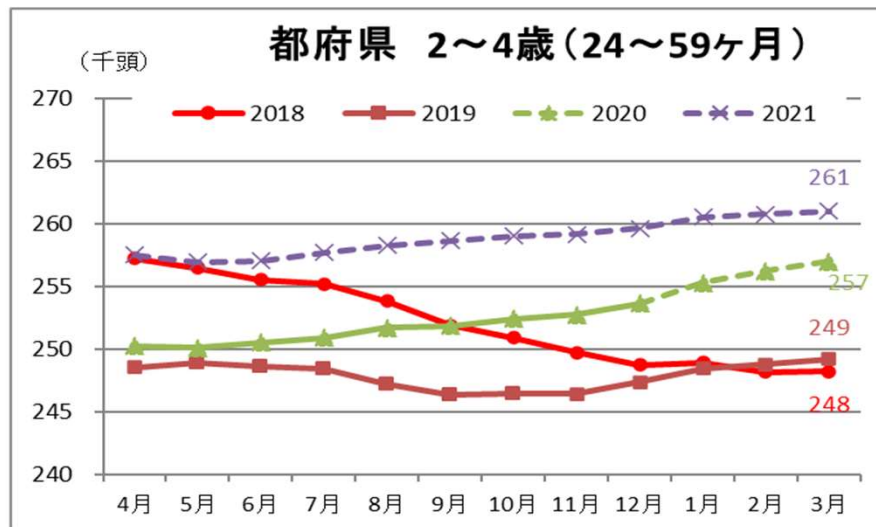
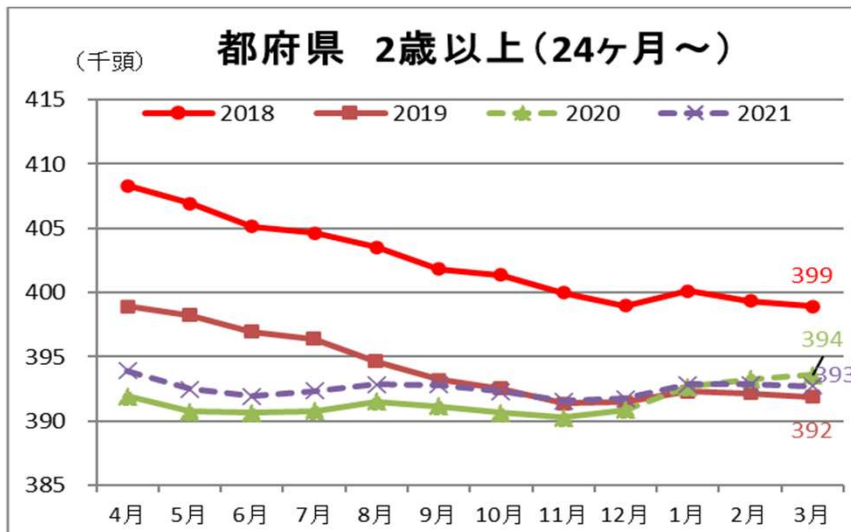
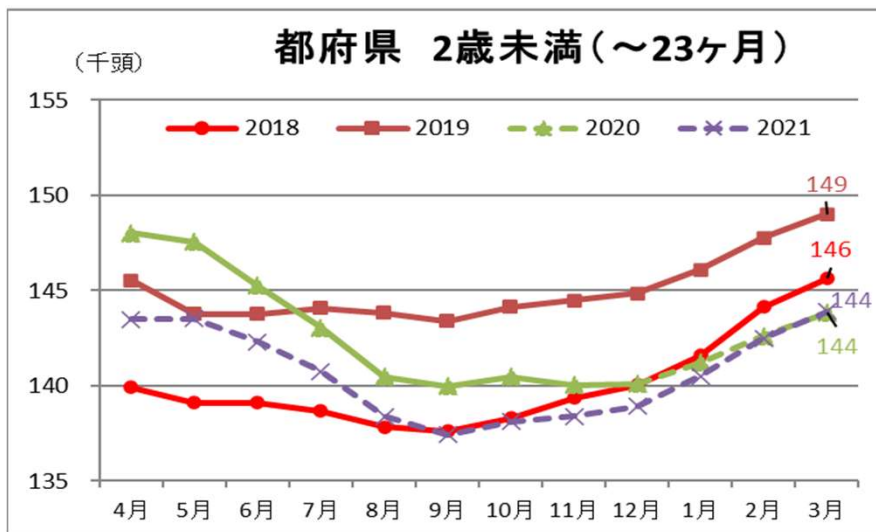
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 北海道



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 都府県



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛2歳以上頭数の推移（2016～21）都府県地域別

年度	都府県		東北		関東		北陸		東海	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
2016年度	420,682	97.5%	74,233	97.9%	137,617	97.8%	10,883	96.1%	42,991	97.2%
2017年度	411,774	97.9%	72,577	97.8%	135,418	98.4%	10,442	95.9%	41,557	96.7%
2018年度	402,421	97.7%	71,593	98.6%	132,039	97.5%	9,887	94.7%	39,730	95.6%
2019年度	394,160	97.9%	70,601	98.6%	129,763	98.3%	9,470	95.8%	38,176	96.1%
2020年度	391,501	99.3%	70,056	99.2%	128,079	98.7%	9,344	98.7%	37,575	98.4%
2021年度	392,524	100.3%	70,410	100.5%	128,138	100.0%	9,305	99.6%	36,790	97.9%

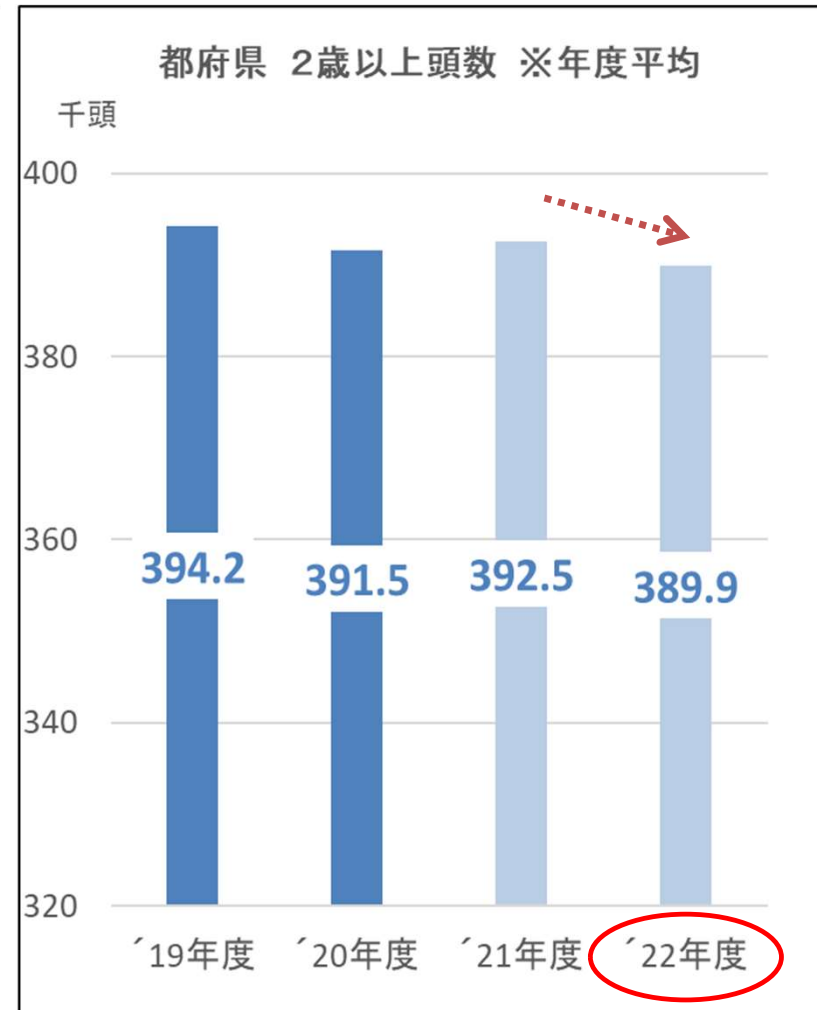
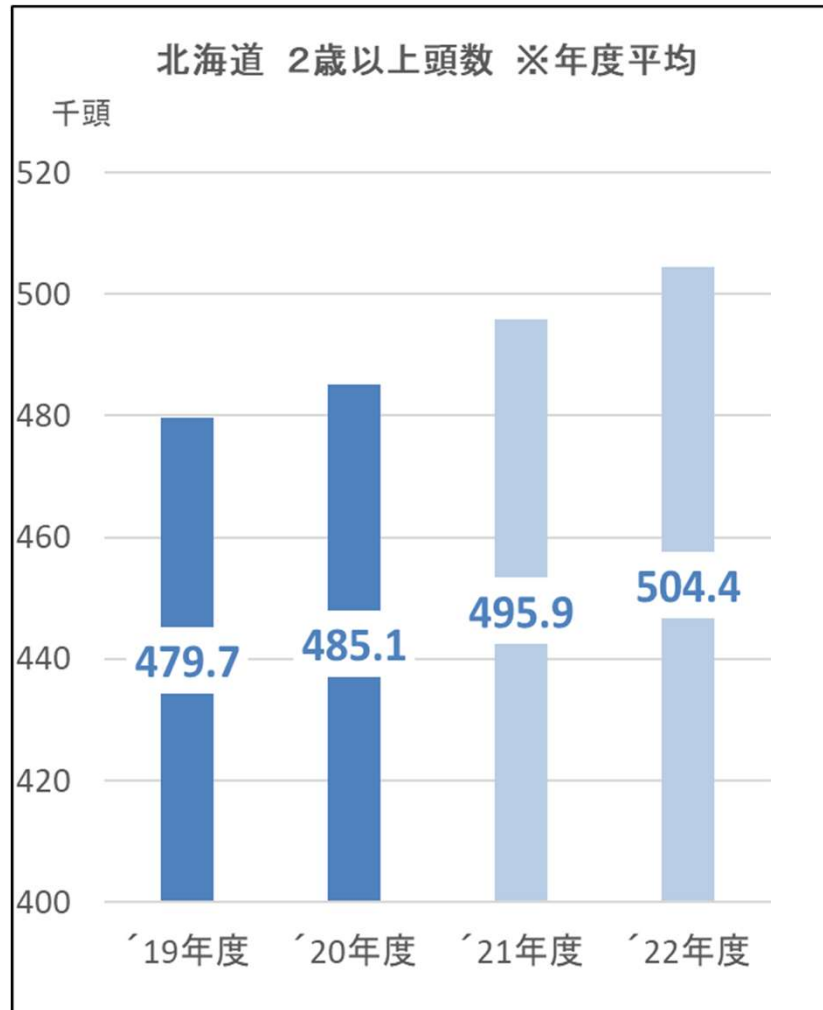
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測月別頭数を加重平均し年度頭数を予測した。なお、各地域の積上げと都府県はやや乖離が生じる

◆乳用雌牛2歳以上頭数の推移（2016～21）都府県地域別②

年度	近畿		中国		四国		九州		沖縄	
	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比	頭数	前年比
2016年度	21,161	96.2%	33,758	98.4%	15,013	98.1%	81,520	97.1%	3,506	95.1%
2017年度	20,288	95.9%	33,382	98.9%	14,631	97.5%	80,063	98.2%	3,417	97.5%
2018年度	19,464	95.9%	33,801	101.3%	14,027	95.9%	78,535	98.1%	3,344	97.9%
2019年度	19,058	97.9%	34,275	101.4%	13,327	95.0%	76,177	97.0%	3,313	99.1%
2020年度	19,060	100.0%	35,590	103.8%	12,972	97.3%	75,535	99.2%	3,289	99.3%
2021年度	19,480	102.2%	36,594	102.8%	13,080	100.8%	75,461	99.9%	3,417	103.9%

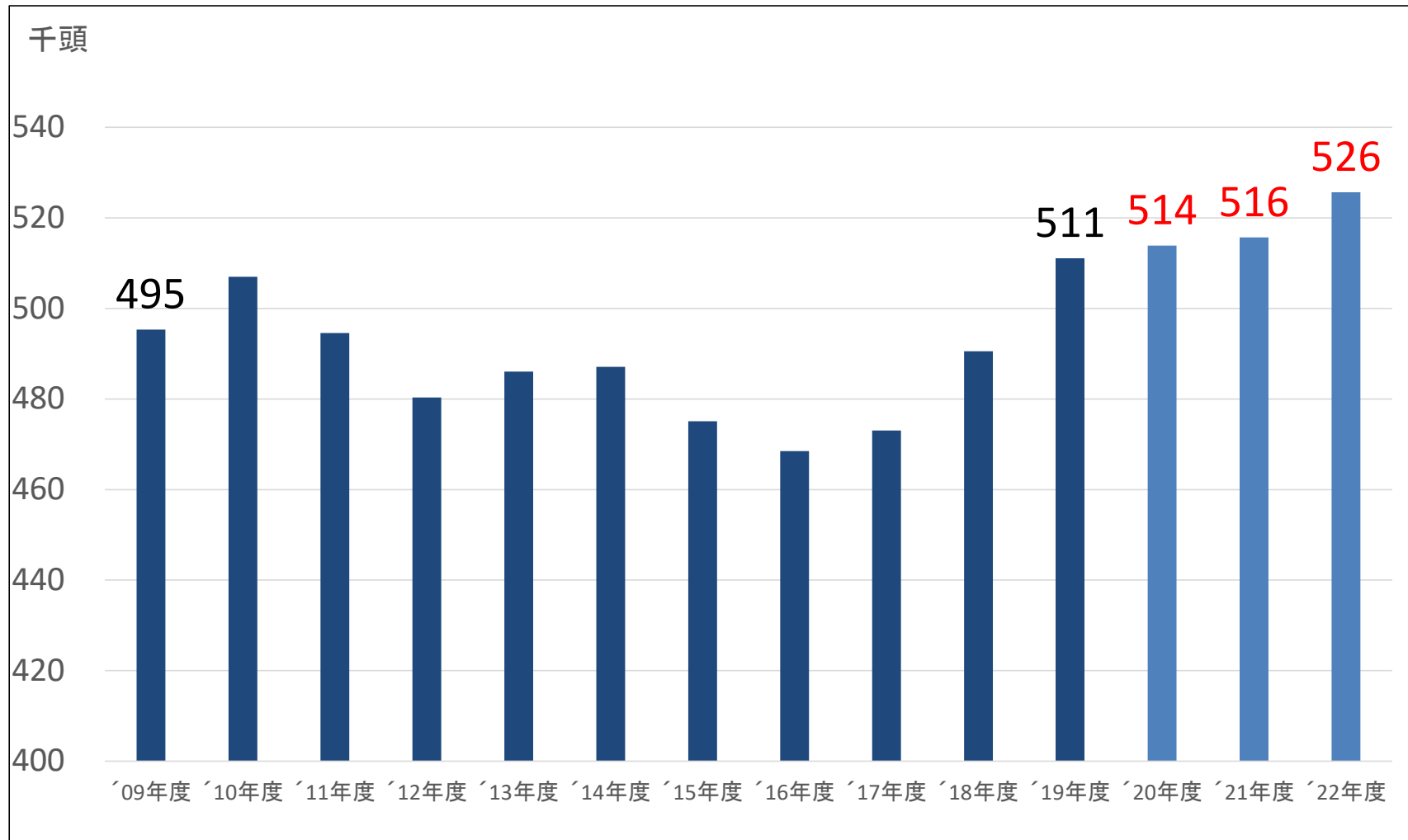
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測月別頭数を加重平均し年度頭数を予測した。なお、各地域の積上げと都府県はやや乖離が生じる

◆乳用雌牛頭数 2歳以上推移と予測（2019~22）北海道・都府県



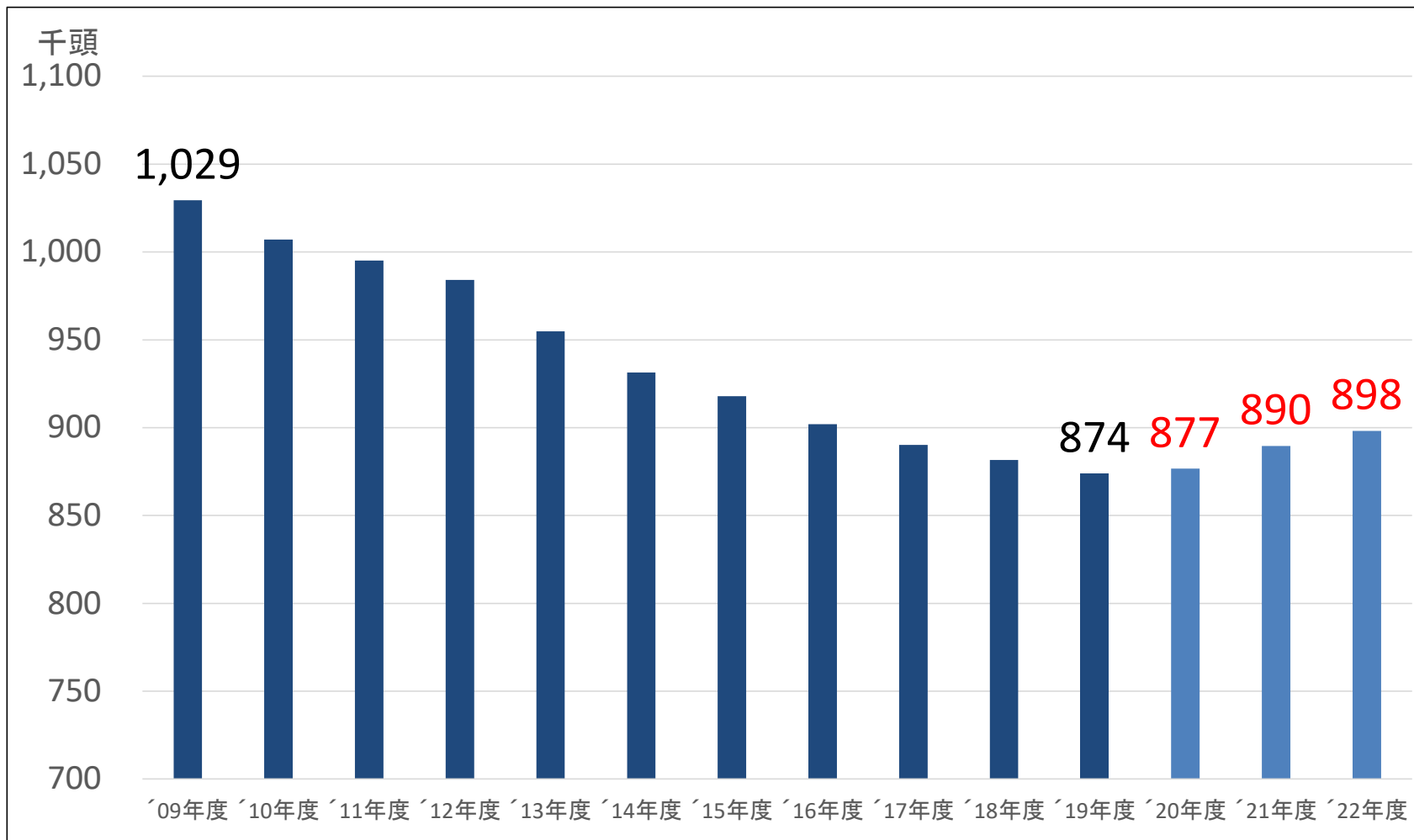
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測。
月別頭数を加重平均し年度頭数を予測した。

◆乳用雌牛2歳未満頭数の推移と予測（2010～22） 全国



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測。
月別頭数を加重平均し年度頭数を予測した。

◆乳用雌牛2歳以上頭数の推移と予測（2010～22） 全国



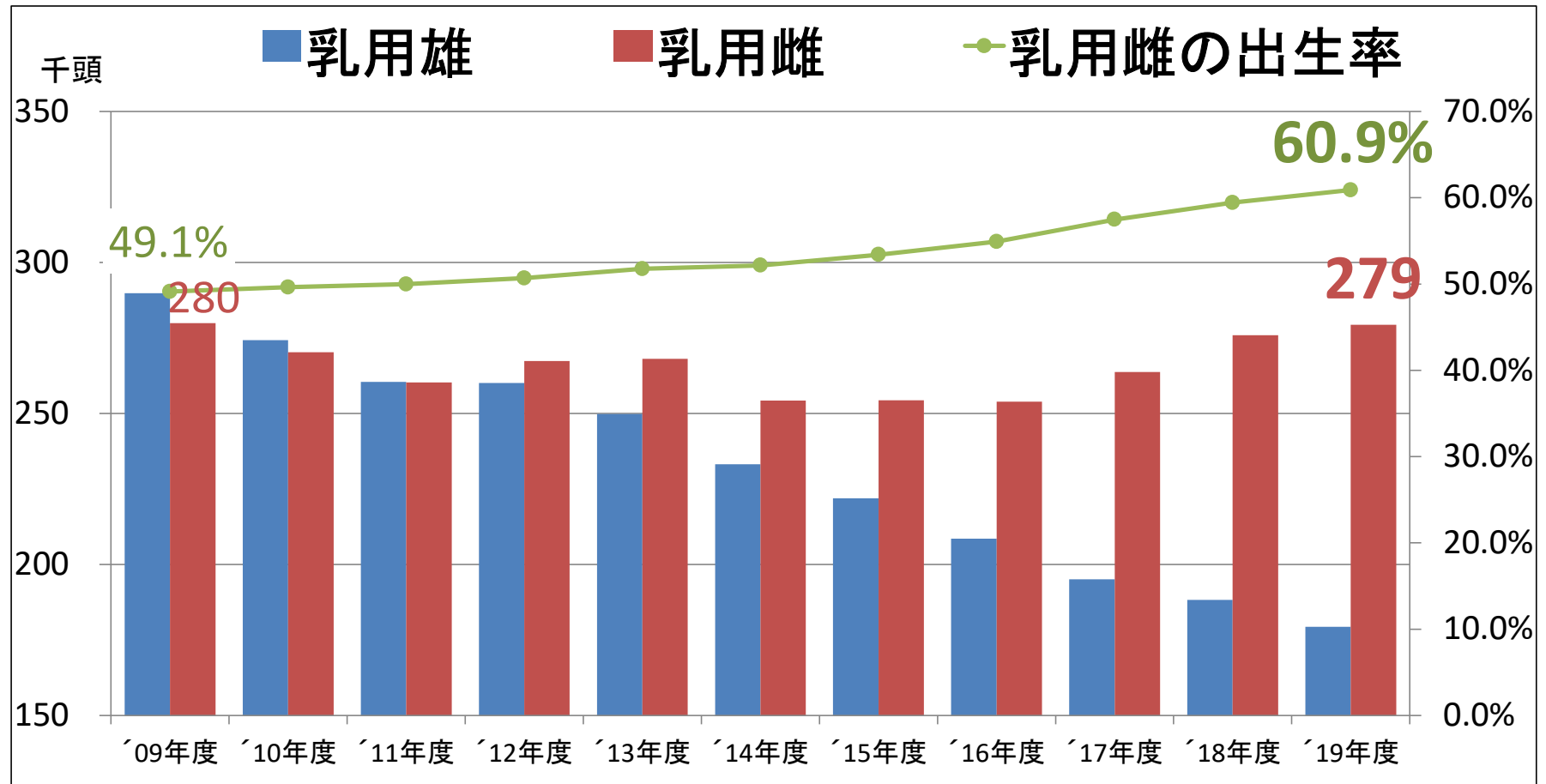
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測。
月別頭数を加重平均し年度頭数を予測した。

◆乳用雌牛からの出生頭数 2020年11月まで

区分	合計	前年比	乳用種 オス	前年比	乳用種 メス	前年比	交雑種	前年比
全国	477,247	101.2%	109,442	91.1%	166,376	97.2%	173,578	111.7%
北海道	295,572	102.4%	82,003	92.9%	122,633	97.9%	81,205	120.9%
都府県	181,675	99.3%	27,439	86.1%	43,743	95.2%	92,373	104.8%

※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値

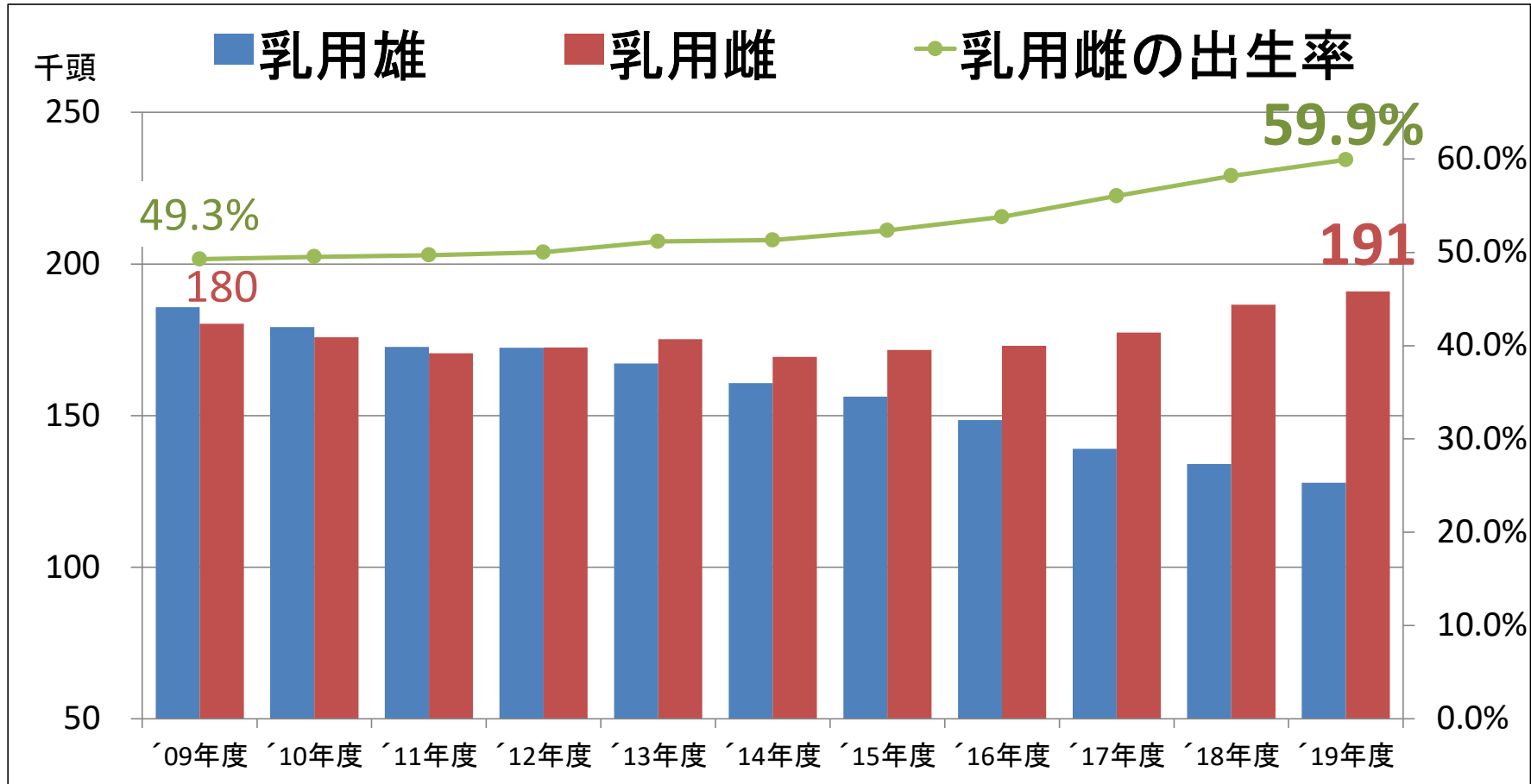
◆乳用子牛の出生頭数と雌子牛出生率（全国）



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

性判別精液の普及により、乳用雌の出生率は上昇傾向。乳用雌頭数も増加に転じ、ここ09年度以降で2番目に多い頭数。

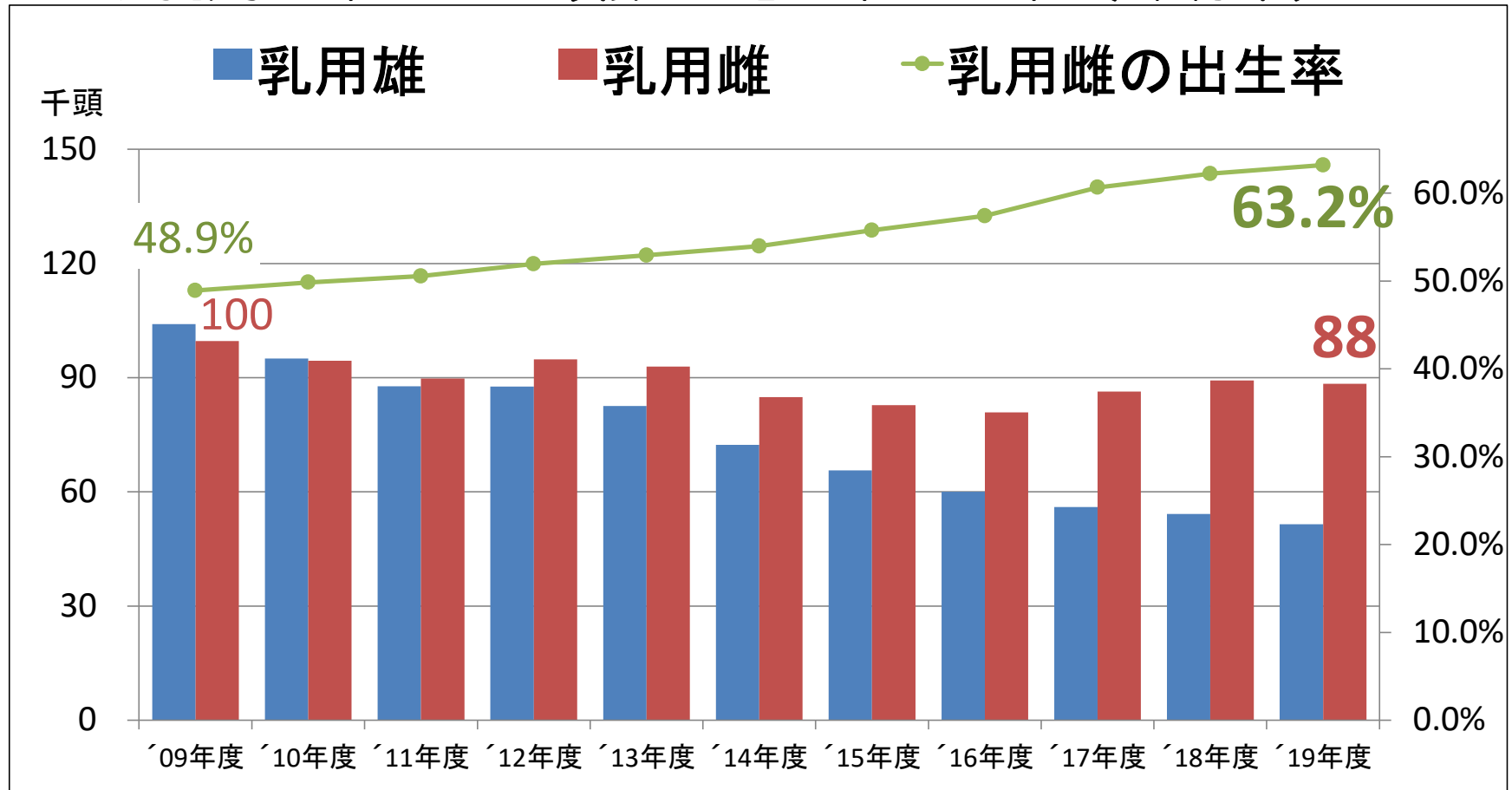
◆乳用子牛の出生頭数と雌子牛出生率（北海道）



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

北海道の乳用雌出生率は都府県63.2%より3ポイント低いものの、6割に逼っており、乳用雌出生頭数は増加傾向で推移。

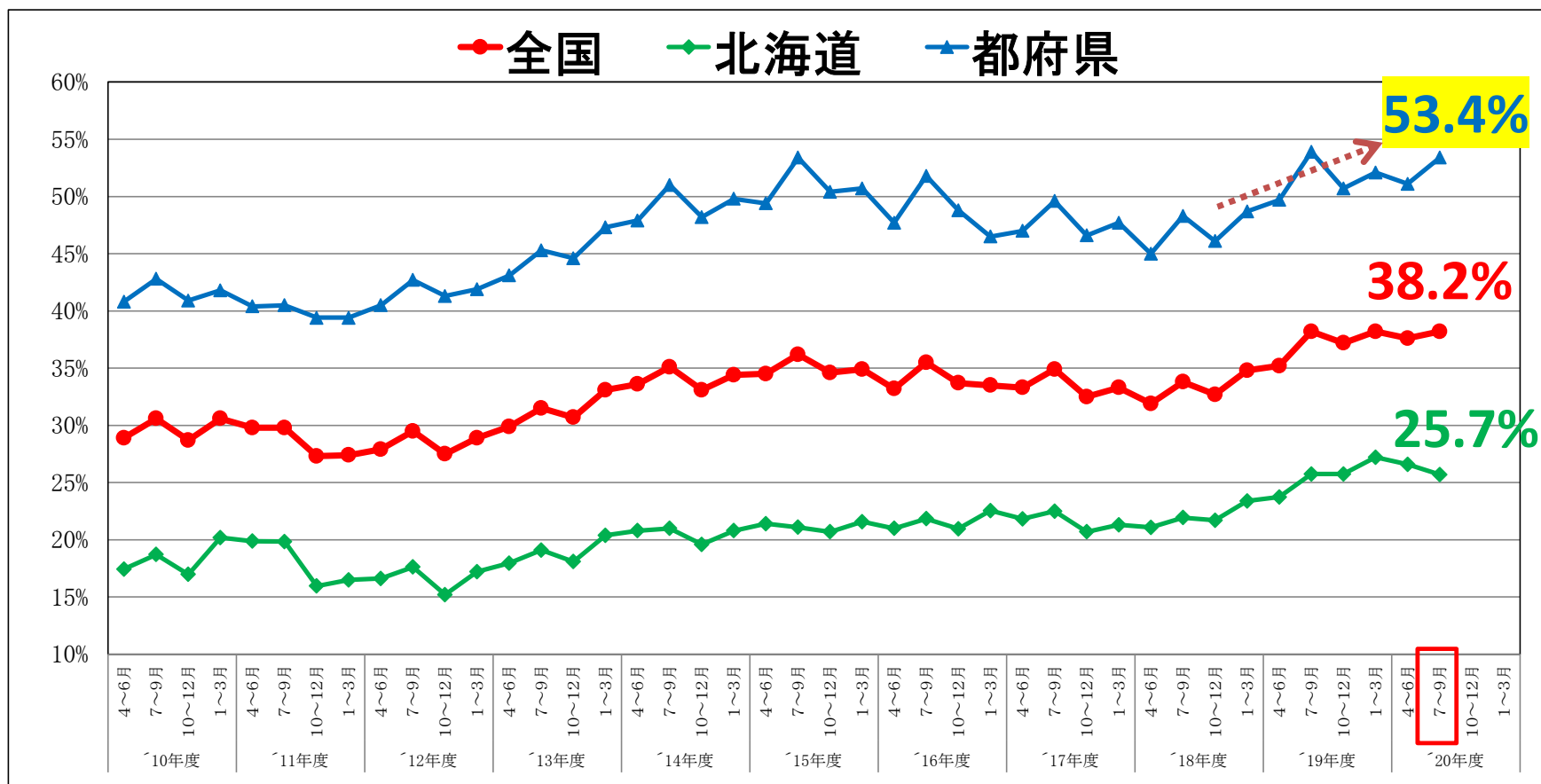
◆乳用子牛の出生頭数と雌子牛出生率（都府県）



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

都府県の乳用雌出生率は全国より2.3ポイント高く、さらに上昇傾向。
一方、乳用雌出生頭数は横ばいで推移。

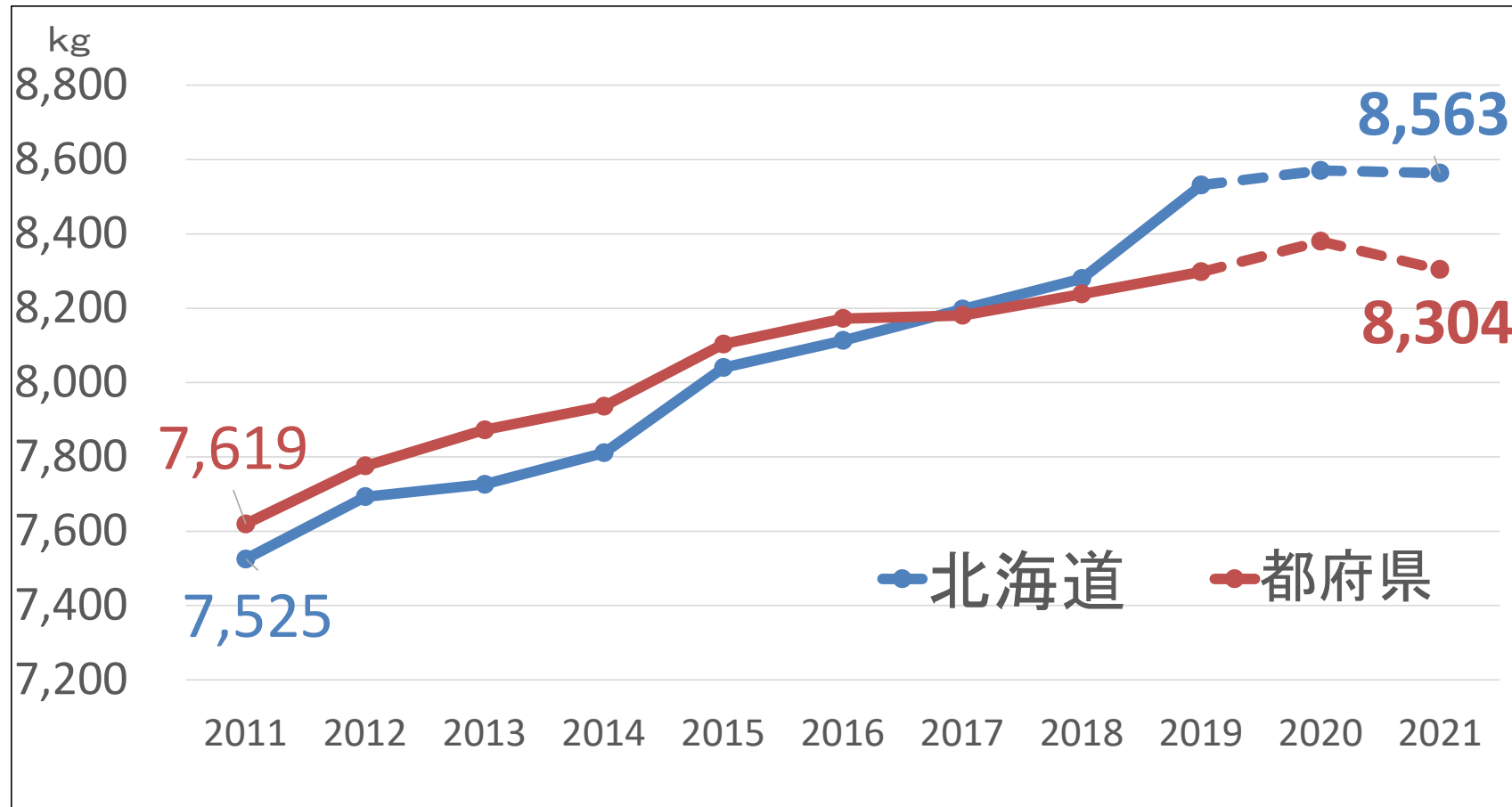
◆黒毛和種交配率の状況（年度・四半期）



※出典 日本家畜人工授精協会

都府県は2015年の50%超をピークにやや減少したものの直近は再び上昇し、特に2019年以降は高水準で推移している。北海道は増加傾向であったが、2020年度は若干減少傾向。

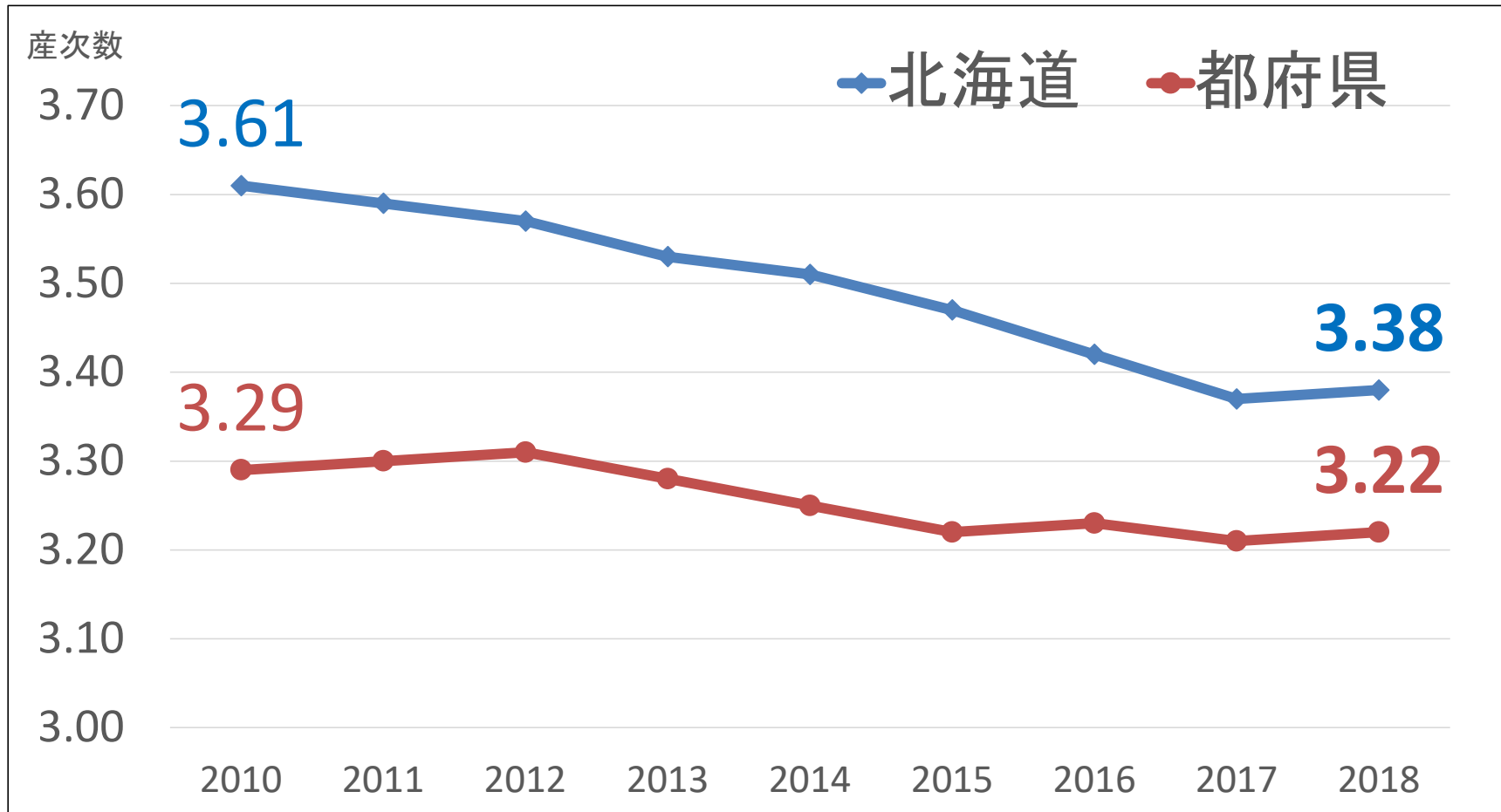
◆乳用雌牛の1頭当たり乳量推移



※出典 牛乳乳製品統計、家畜改良センター牛個体識別情報。1頭当たり乳量は当該年度の生乳生産量÷2歳以上頭数で算出

1頭当たり乳量は増加基調で推移してきたが、伸び率は鈍化。
都府県は減少する可能性も。

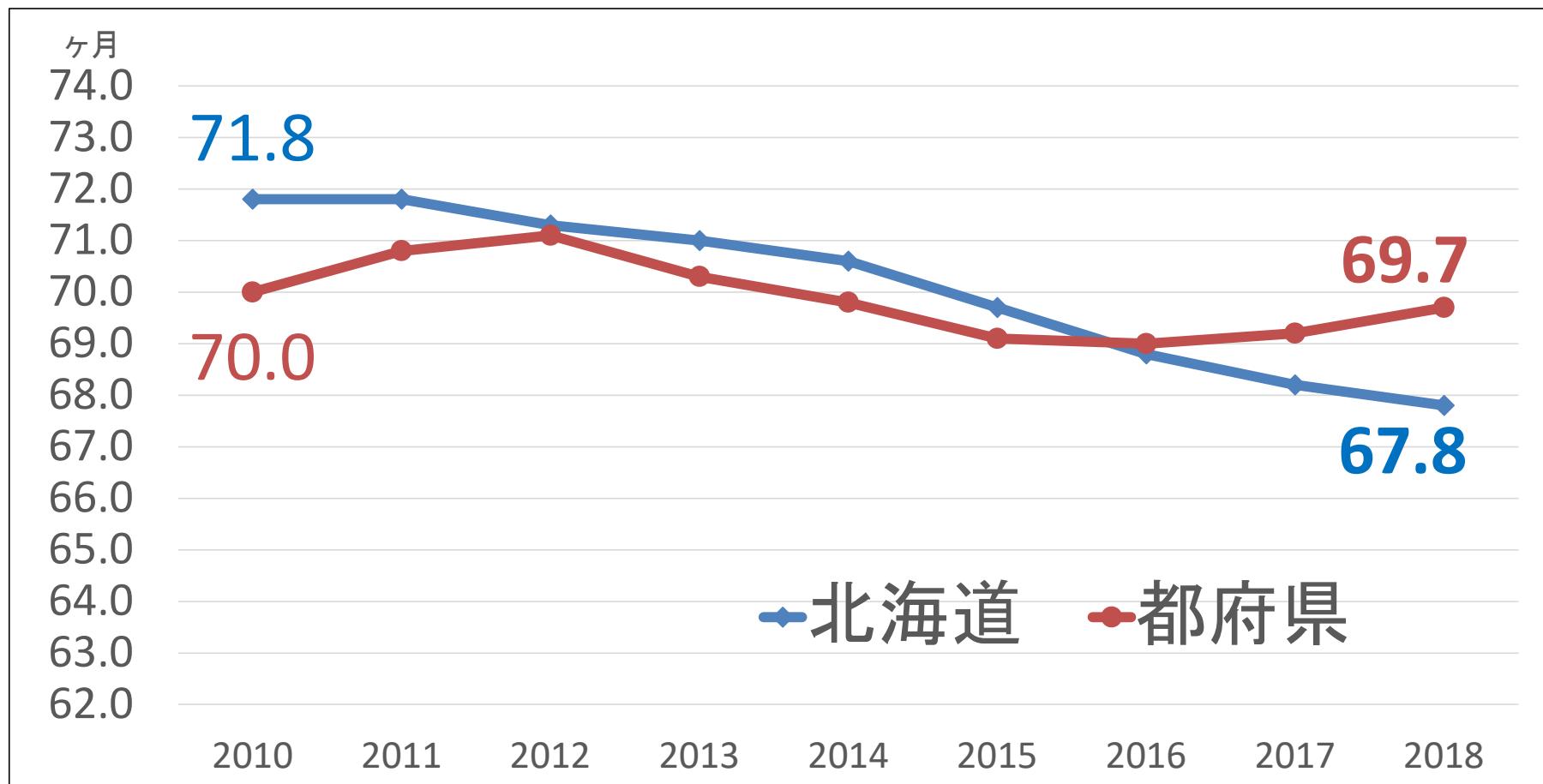
◆乳用雌牛の除籍産次



※出典 家畜改良事業団「乳用牛群能力検定成績のまとめ」

2010年度と比較すると、北海道は0.2強、都府県は0.1弱低下している。

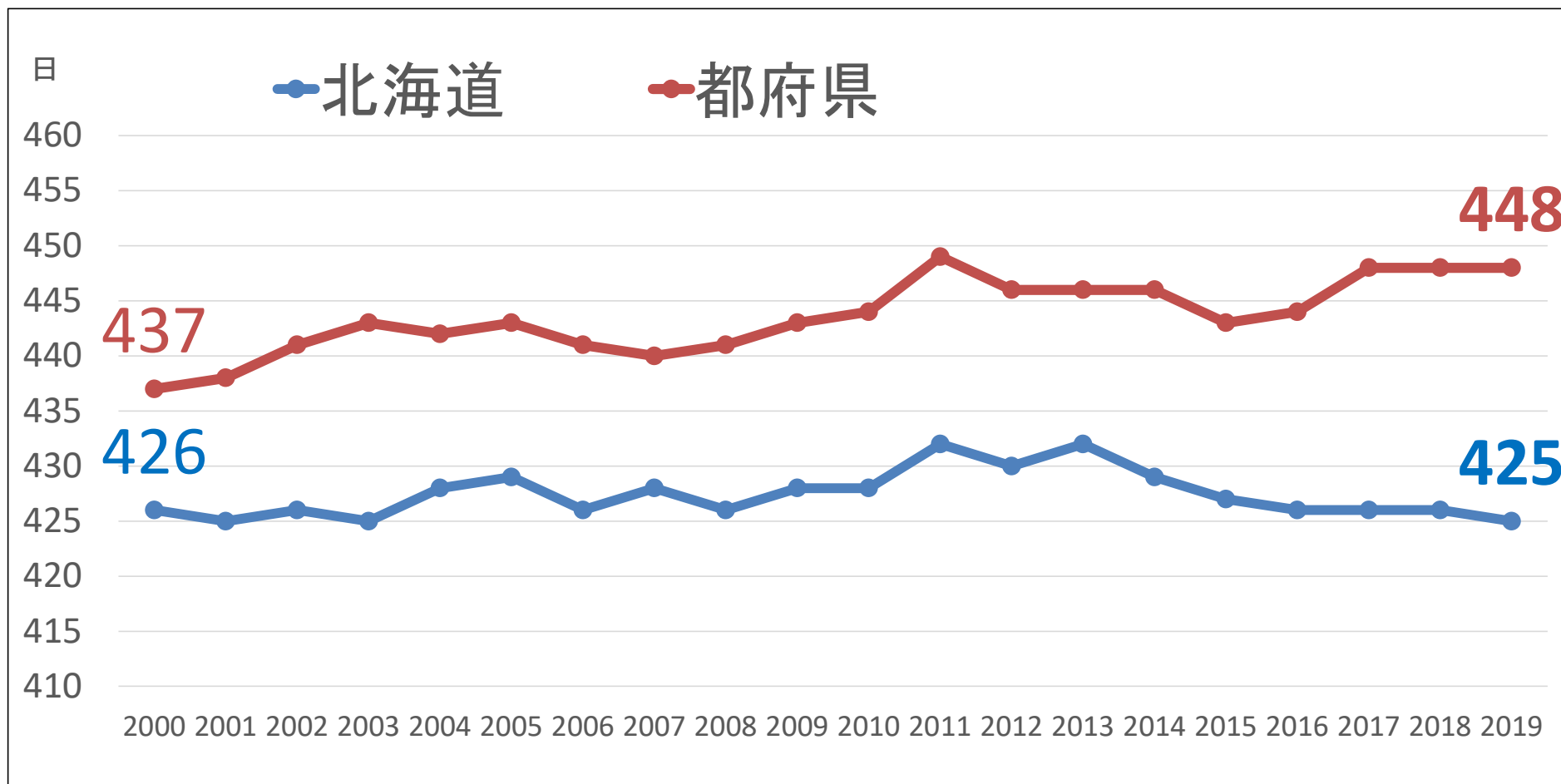
◆乳用雌牛の除籍月齢



※出典 家畜改良事業団「乳用牛群能力検定成績のまとめ」

2010年度と比較すると、北海道は4ヶ月除籍が早まっており、都府県はほぼ横ばいで直近は若干伸びている。

◆乳用雌牛の分娩間隔の推移



※出典 家畜改良事業団「乳用牛群能力検定成績のまとめ」

およそ20年間北海道は変化がないが、都府県は10日程長くなった（悪くなった）。

◆家畜販売価格動向

千円(税込)

年度	初妊牛		育成牛		F1初生とく(ヌレ子) (雄)		和牛素牛(去勢)		F1素牛(去勢)	
	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比	価格	前年比
'10年度	530	-	251	-	157	-	438	-	312	-
'19年度	790	86%	422	83%	279	95%	802	98%	506	102%
'10-19比	+260	149%	+171	168%	+123	178%	+364	183%	+194	162%

	前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比	
'20年度1月単月	788	94%	462	92%	139	59%	848	108%	481	92%

※出典 ホクレン家畜市場集計表速報値

10年前と比較すると、全ての畜種の価格が出回頭数減等の要因により高騰した。直近について、F1は頭数の大幅増によって低調。

◆脱脂粉乳の輸入動向（TPP11・日欧EPA枠）

単位:ト

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
TPP	2018年度										0.0	8.4	841.6	850.0
	2019年度	212.4	61.1	0.0	131.1	98.3	167.7	60.7	210.0	18.0	198.1	256.1	695.5	2,108.8
	前年比	/	/	/	/	/	/	/	/	/	#DIV/0!	3048.8%	82.6%	248.1%
	2020年度	0.0	0.0	0.0	8.4	67.9	8.4	97.9						182.6
	前年比	0.0%	0.0%	#DIV/0!	6.4%	69.1%	5.0%	161.3%						8.7%
EU・EPA	2018年度										0.0	0.0	0.0	0.0
	2019年度	0.0	0.0	0.0	59.6	50.0	161.7	13.2	75.0	0.0	74.9	74.8	405.1	914.2
	前年比	/	/	/	/	/	/	/	/	/	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	2020年度	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	148.0						223.0
	前年比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	125.8%	0.0%	0.0%	1125.5%						24.4%

※出典 財務省貿易統計

TPP枠数量進捗(製品換算)

年度	枠数量	輸入量	消化率
2019年度	3,294	2,109	64.0%
2020年度	3,401	183	5.4%
2021年度	3,507		0.0%
2022年度	3,613		0.0%
2023年度	3,719		0.0%

2020年度（10月までの実績）は、TPP11・日欧EPA枠ともに低調に推移している。

◆バターの輸入動向（TPP11・日欧EPA枠）

単位:トン

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
TPP	2018年度										0.0	0.0	468.4	468.4
	2019年度	0.0	0.0	0.0	74.8	64.8	17.4	20.0	60.0	146.4	36.8	325.1	275.4	1,020.6
	前年比										#DIV/0!	#DIV/0!	58.8%	217.9%
	2020年度	0.0	0.0	148.9	60.9	72.0	34.6	332.0						648.4
	前年比	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	81.4%	111.1%	198.7%	1661.9%						63.5%
EU・EPA	2018年度											2.1	7.4	9.6
	2019年度	1.9	8.8	14.2	12.4	14.2	17.9	18.9	39.0	21.4	34.5	12.5	351.5	547.1
	前年比											582.4%	4721.8%	5704.5%
	2020年度	7.0	2.4	8.4	9.3	6.0	22.0	58.5						113.6
	前年比	369.6%	27.9%	59.2%	75.1%	42.2%	122.6%	309.4%						20.8%

※出典 財務省貿易統計

TPP枠数量進捗(製品換算)

年度	枠数量	輸入量	消化率
2019年度	3,294	1,021	31.0%
2020年度	3,401	648	19.1%
2021年度	3,507		0.0%
2022年度	3,613		0.0%
2023年度	3,719		0.0%

EPA枠数量進捗(生乳換算)

年度	枠数量	輸入量	
		バター	脱粉
2019年度	13,286	6,751	5,924
2020年度	13,714	1,402	1,445
2021年度	14,143		
2022年度	14,571		
2023年度	15,000		

※枠数量には、粉乳、バターミルクパウダー、加糖練乳も含まれる。

2020年度（10月までの実績）は、バターについても低調に推移している。

《需給を取り巻く環境を踏まえて》

- 2021年度は北海道・都府県ともに2～4歳の雌牛は増頭になる見込み。
- 性判別精液の普及により、雌牛を計画的に確保できることや、肉牛市況の影響等により黒毛和種交配率が上昇傾向にある。
- 特に都府県においては、黒毛和種の交配率が高止まりすることで、今後の乳用後継牛確保が懸念される。
- 都府県では、除籍産次や除籍月齢が若干改善傾向にあるが、5歳以上の頭数は依然として減少が続いている状況にあり、供用年数の延長対策等を進めてゆくことも重要となる。

IV. 当面の課題と対応

1. 当面する生乳需給緩和への対応

●新型コロナの影響によって、今後の需要動向が不透明な状況の中、**年度末から4～5月にかけて生乳需給が緩和する可能性が高い。**

●業界としては、製品における生乳使用率の引き上げや乳製品処理の最大化等の取り組みに尽力することが重要。特に3月は、脱脂粉乳・バター等向供給量の見通しが、非常に高い水準となっていることから、**全国的に乳製品処理を最大化することが必須。**

●**家庭内消費を中心に生乳需要の拡大を図る**よう、酪農乳業が一丸となって、消費者の共感・理解を得ながら積極的な取り組みを進めることが必要。

※2/3付で会員・賛助会員宛文書『年末年始の生乳需給状況と年度末以降の対応について（お礼とお願い）』を発信しており、年度末以降の対応について協力を依頼。

2. 飲用牛乳等の安定供給・需給調整への取り組み

- 北海道と都府県の生産ギャップがさらに広がる見通しにある中、都府県における季節的な生乳需給の繁閑差がさらに拡大する懸念。
- 道外移出生乳など広域生乳流通の季節偏差拡大によって主産地に需給調整負担が偏在化していることが課題。
- 業界内での共有化を促進し、国も含めた関係者による取り組みを速やかに進める必要。
- 飲用牛乳等の需給や流通の実態、供給への課題については、流通小売業や消費者に対して丁寧に説明を行い、一層の理解醸成に努めることが重要。

3. 生乳・牛乳乳製品の需給の安定化の取り組み

● 新型コロナウイルスの影響による業務用需要の大幅な減少等に伴い、乳業者が保有する乳製品在庫は非常に高い水準となっており、直近はより悪化している状況。

● 国の対策によって一定量の在庫解消が期待されるものの、脱脂粉乳・バターとともに生産量がさらに増加する見通しであることから、国家貿易による乳製品の輸入・売渡については、適切かつ弾力的な運用が強く求められる。

● 国産牛乳乳製品の国内市場を拡大するとともに、アジア近隣諸国への輸出拡大等、中長期的な視点を持って、業界で連携した具体的な取り組みを進めてゆく必要。

4. 酪農生産基盤強化の取り組み

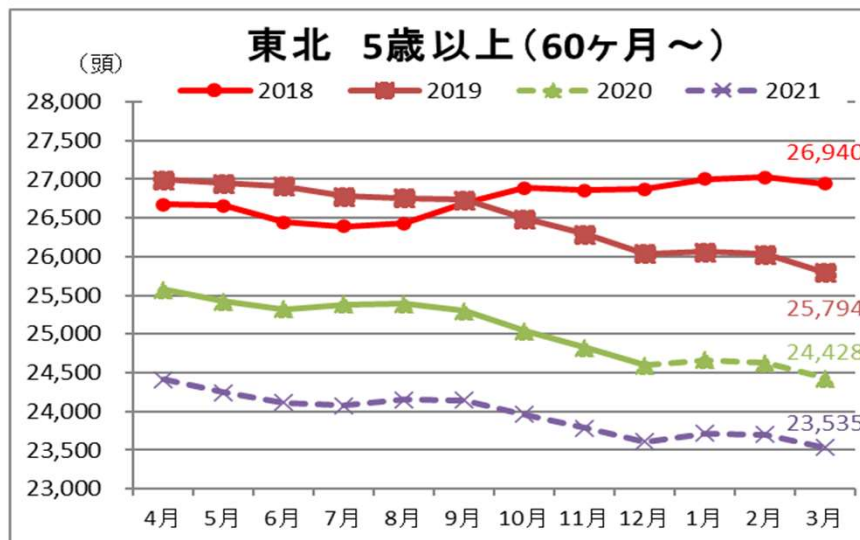
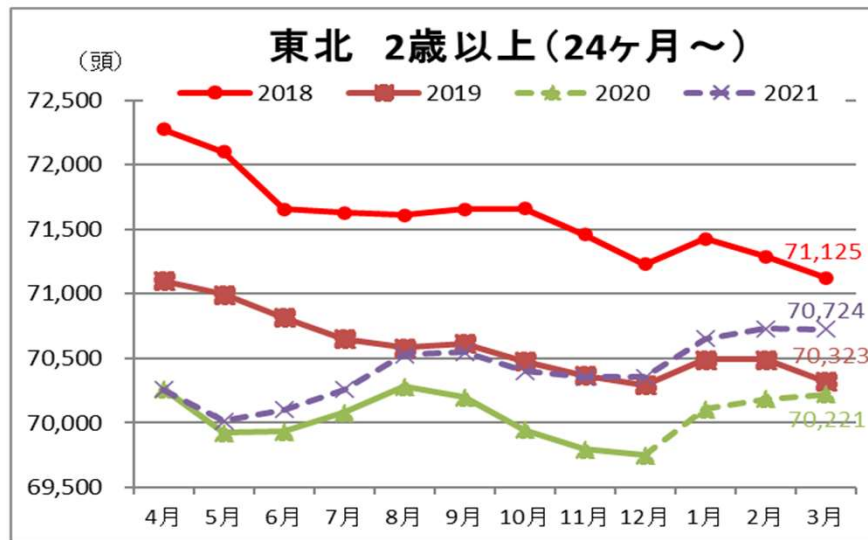
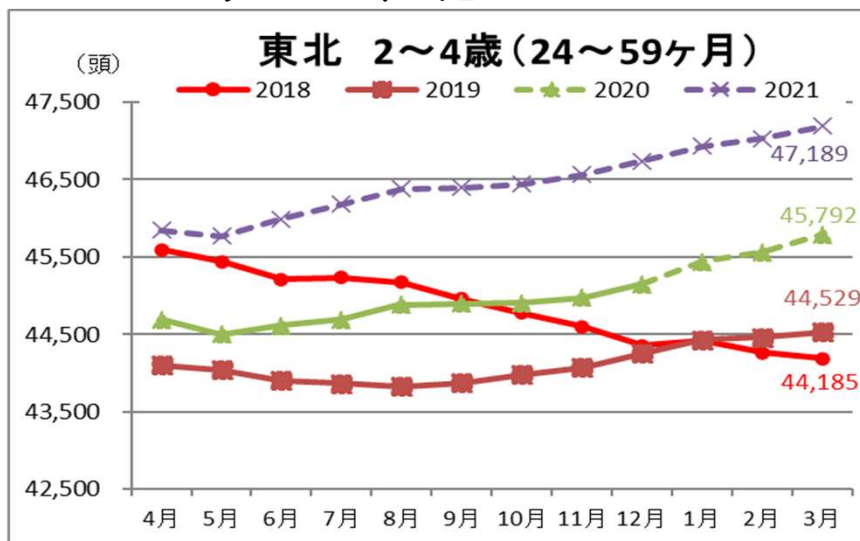
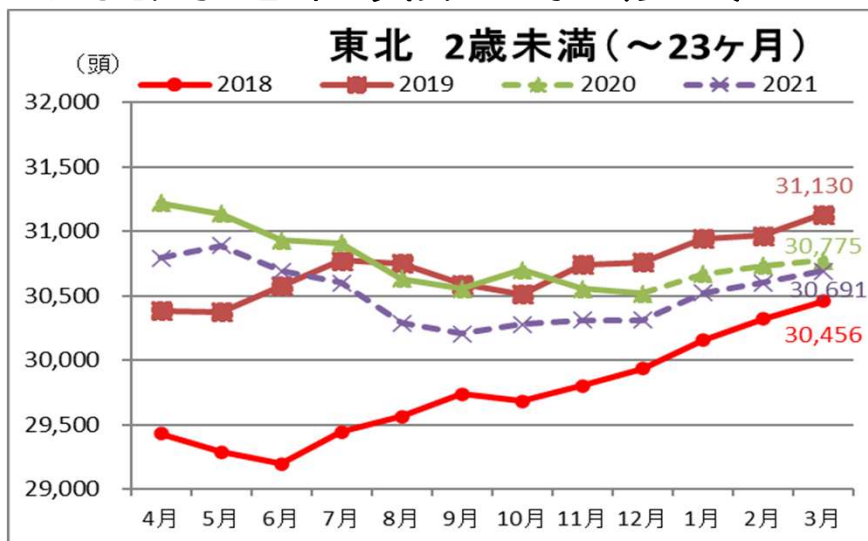
●都府県の生乳生産については、依然、需要に応じた水準を確保できていない状況にあり、需給上の課題が深刻化する主要因となっている。

●直近の黒毛和種授精率の高止まりもあり、都府県における後継若齢牛の頭数が減少傾向にあることから、今後の生乳生産への影響が懸念される状況。

●家族経営の安定を主眼とした上で、都府県の酪農生産基盤強化対策をさらに進めるとともに、持続可能性を強化する取り組みを積極的に促進することが重要。

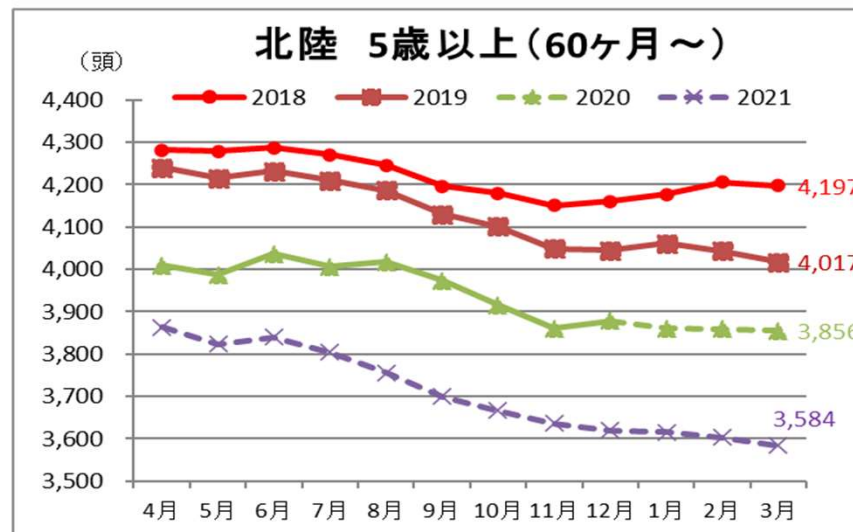
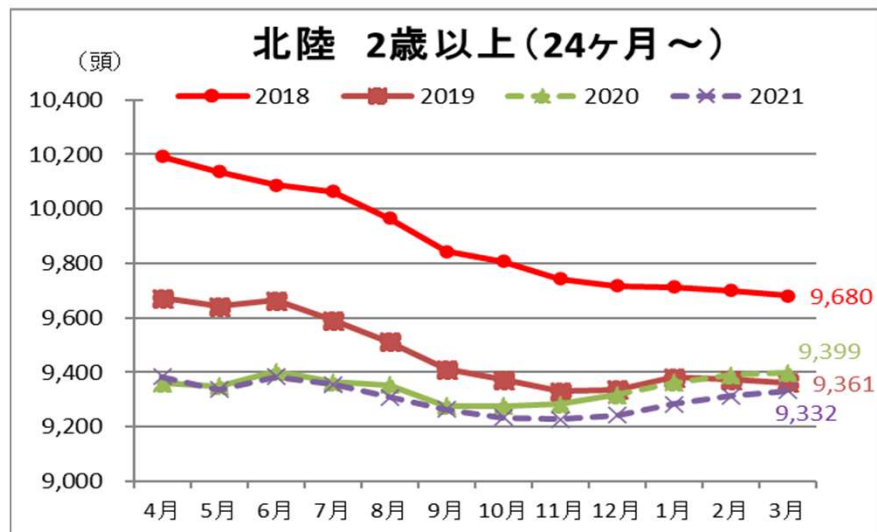
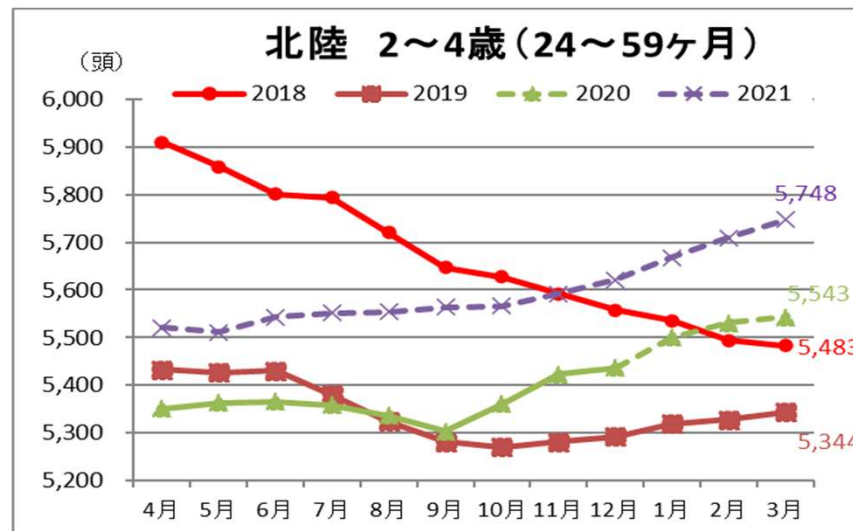
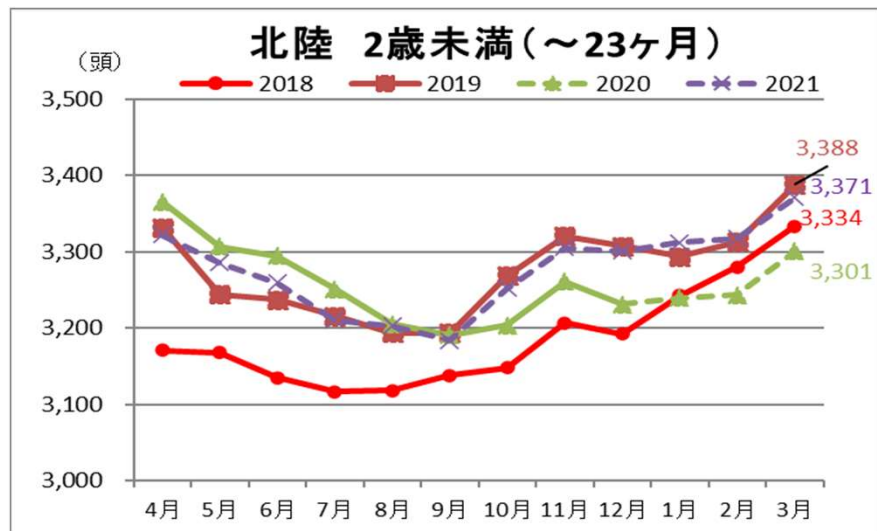
IV. 資料編

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 東北



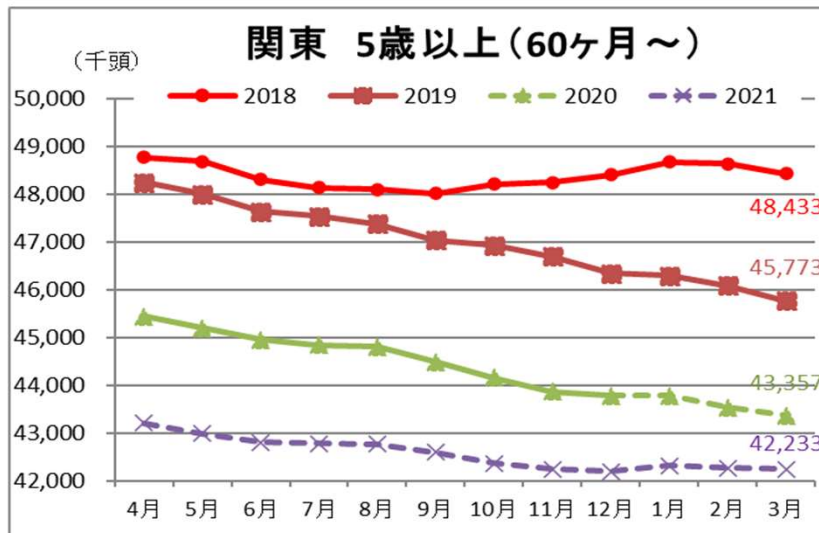
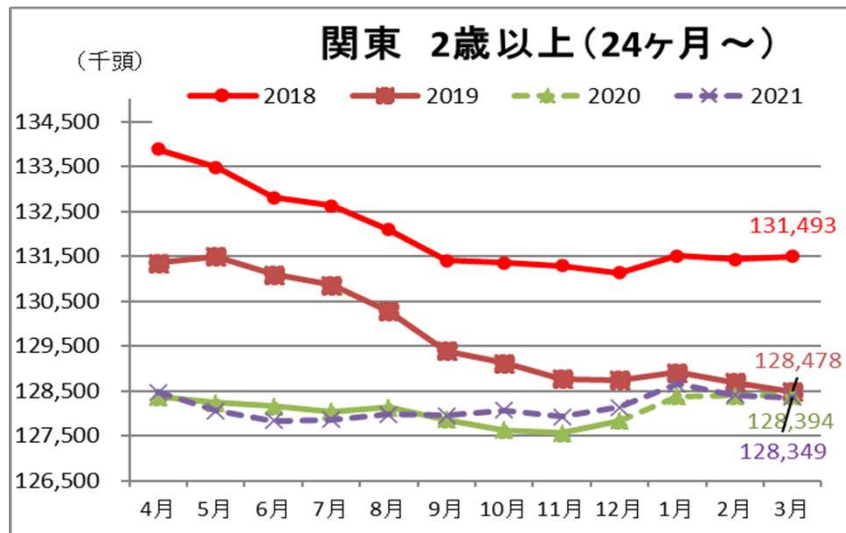
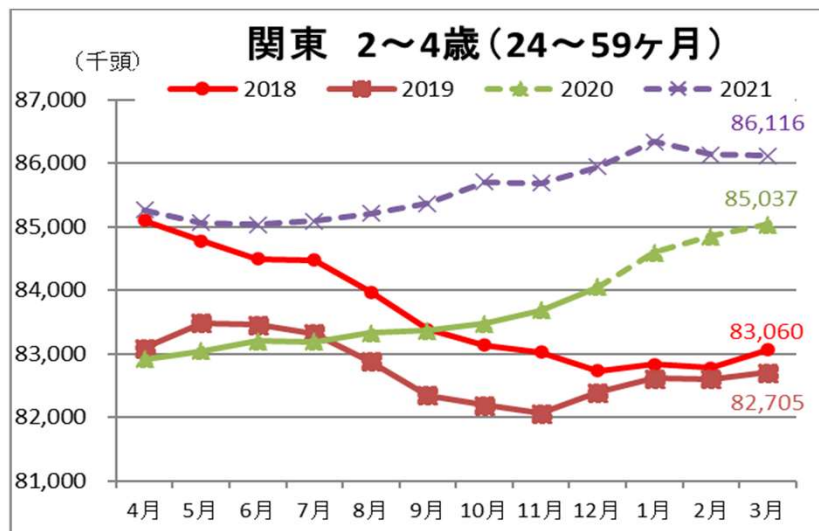
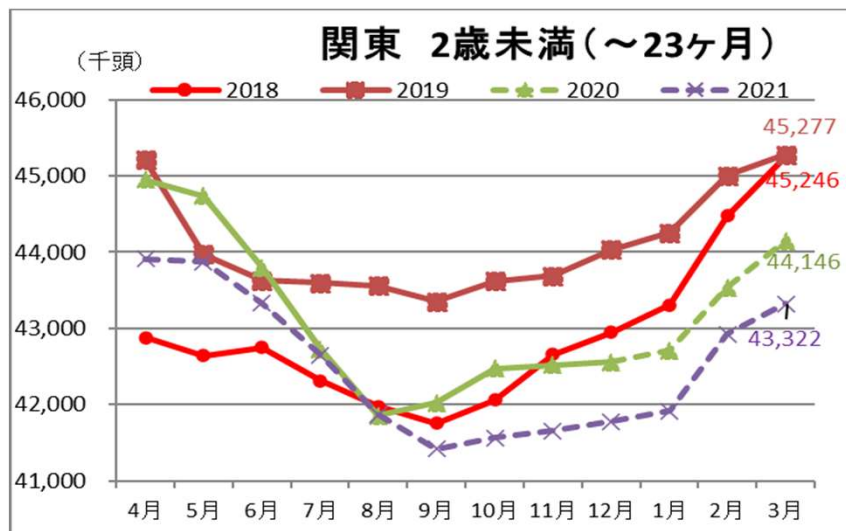
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 北陸



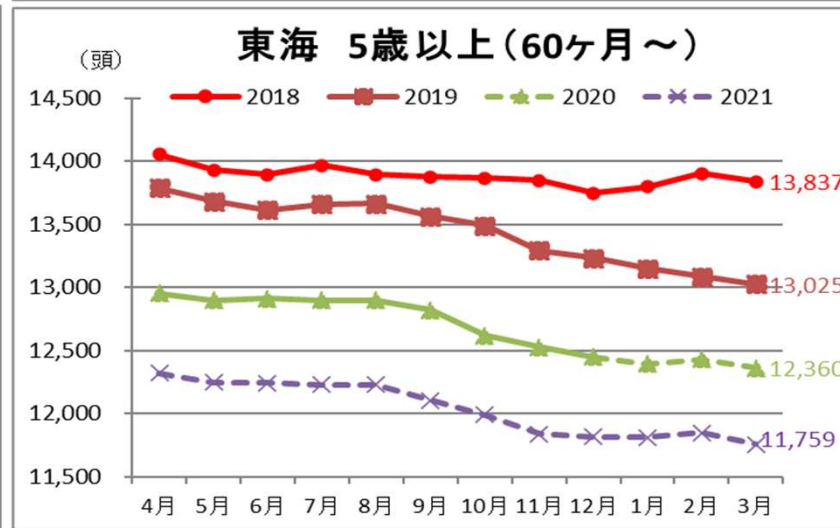
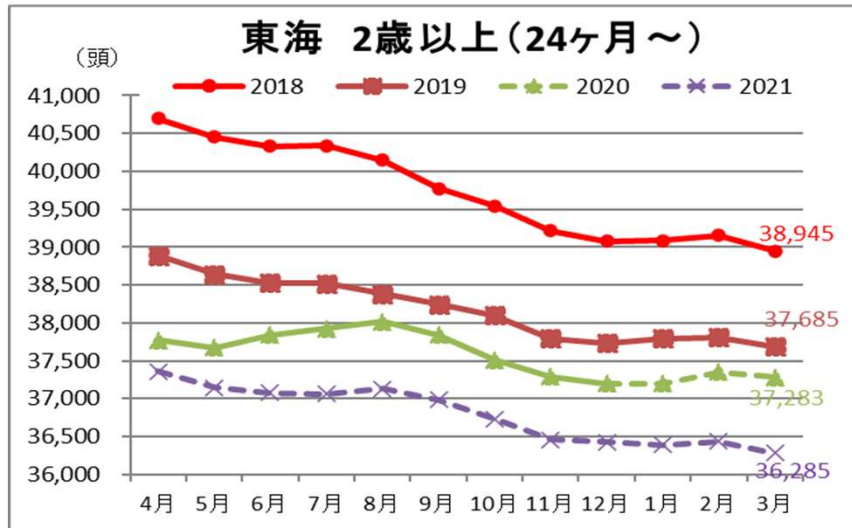
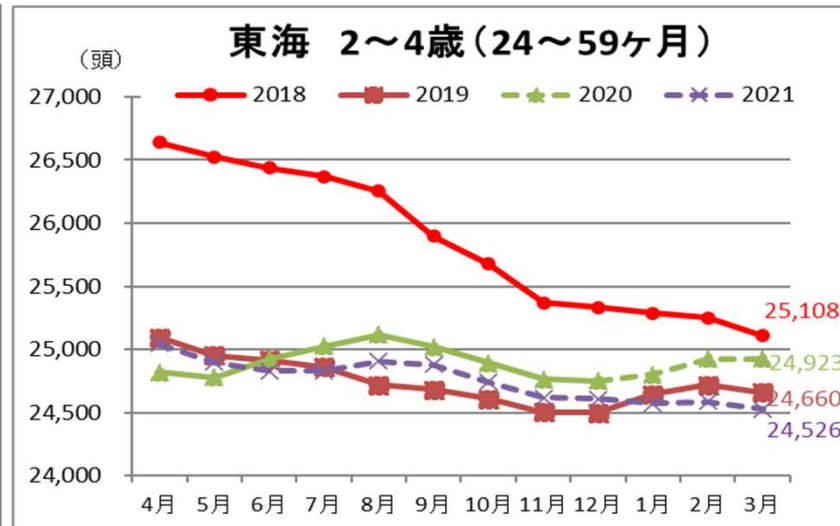
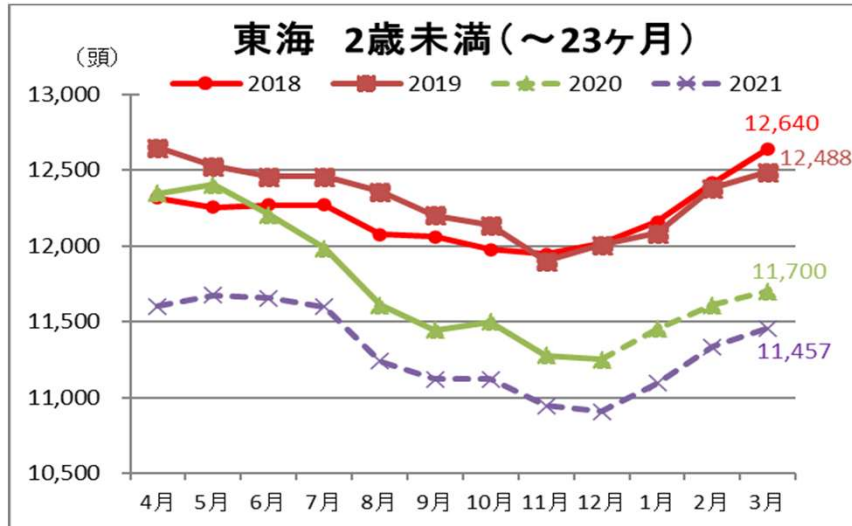
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 関東



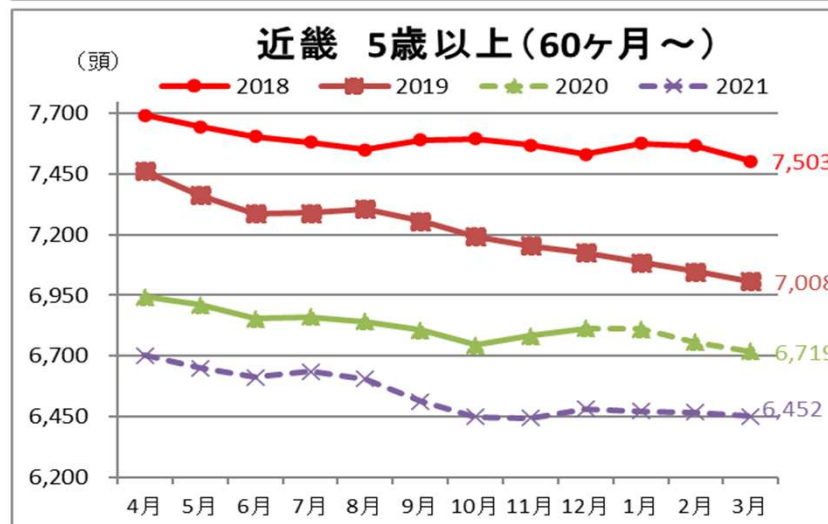
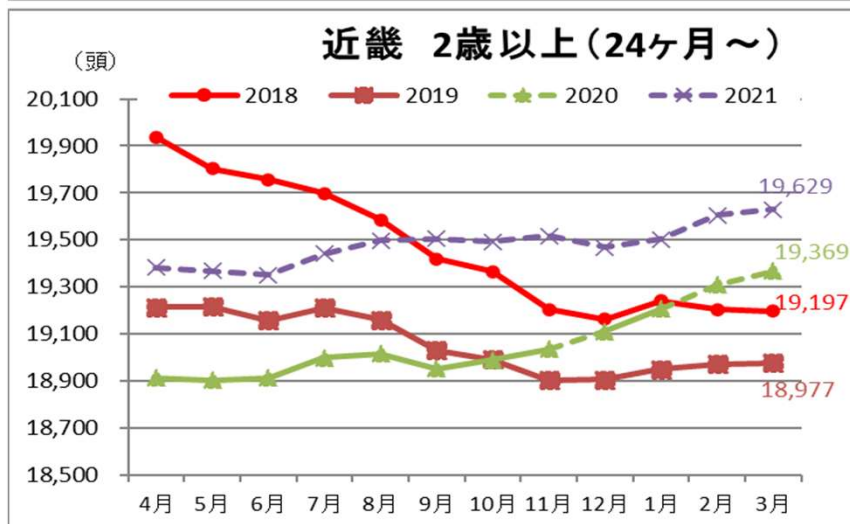
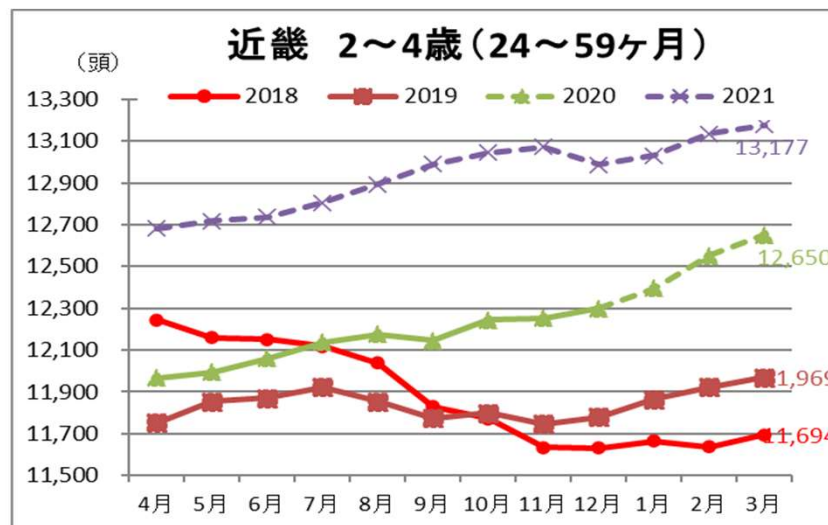
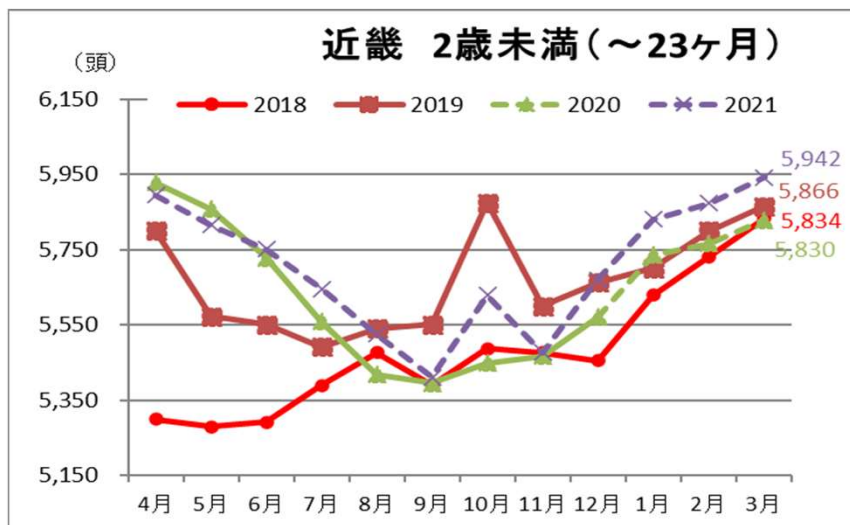
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 東海



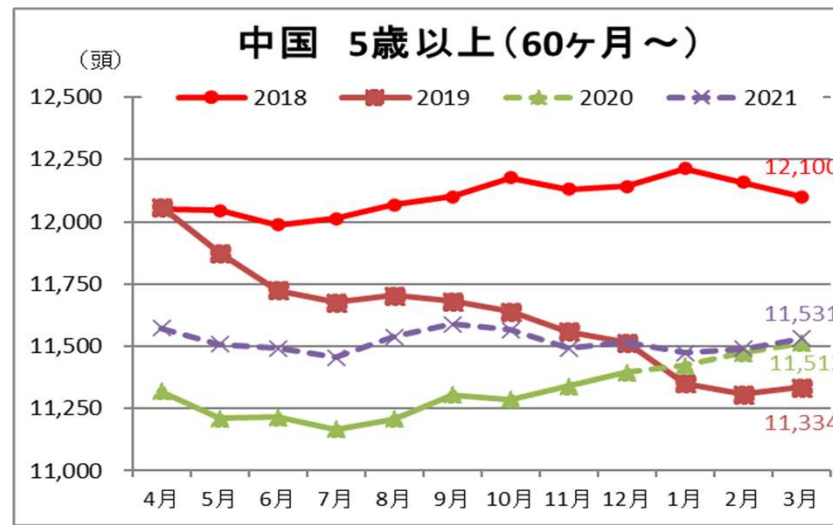
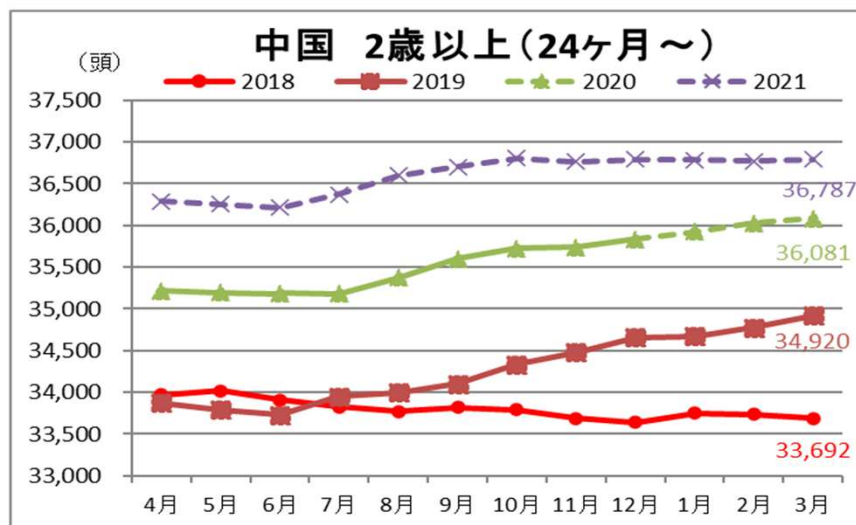
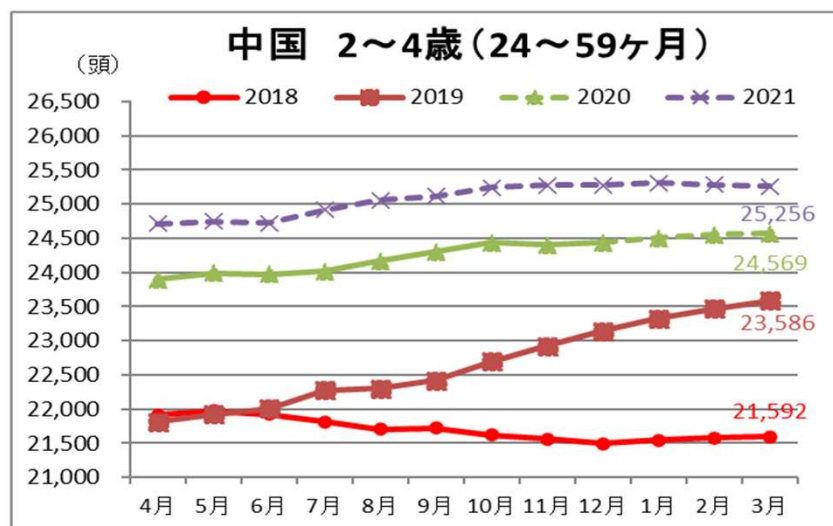
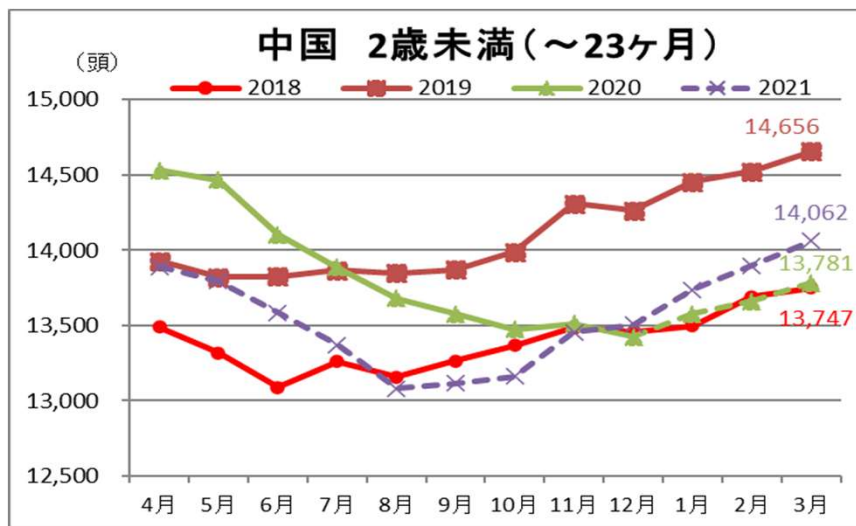
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 近畿



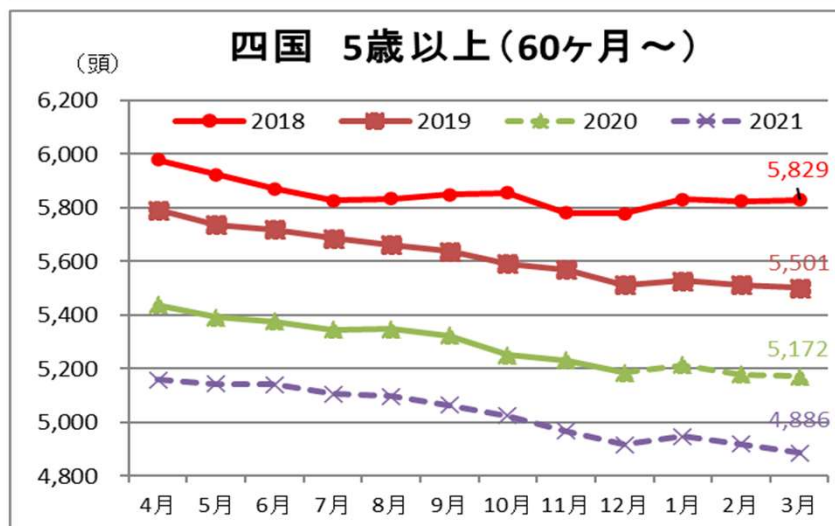
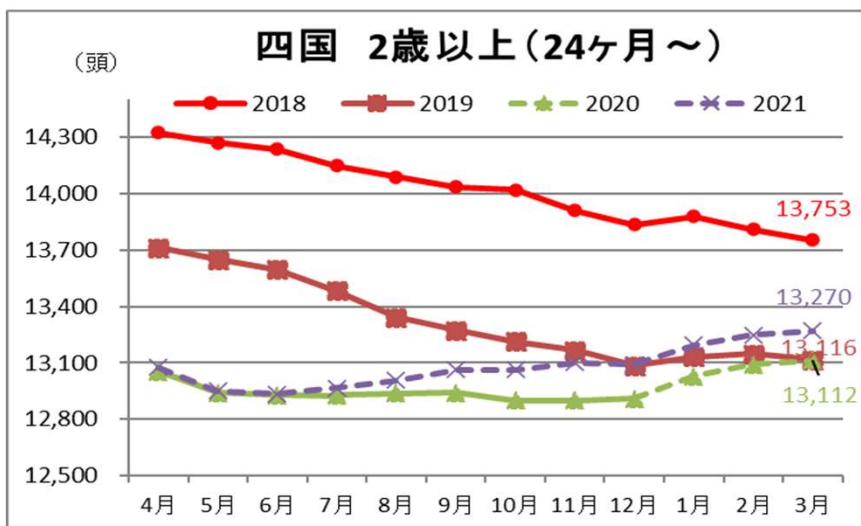
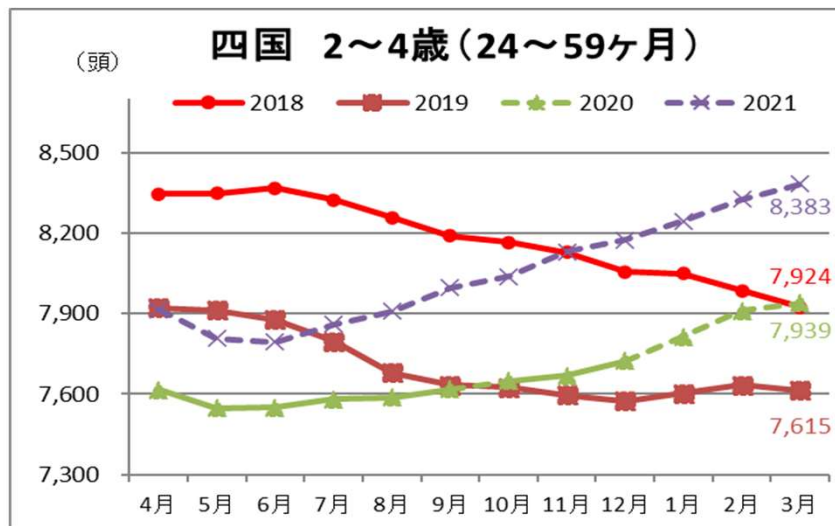
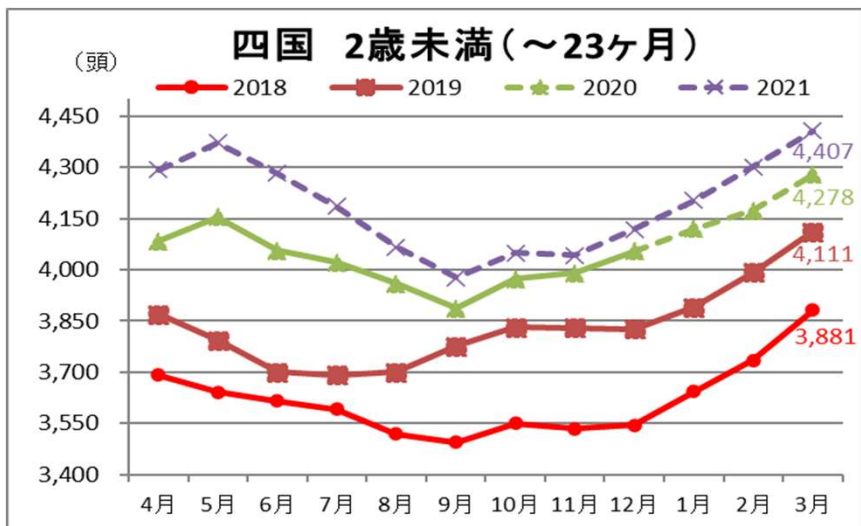
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 中国



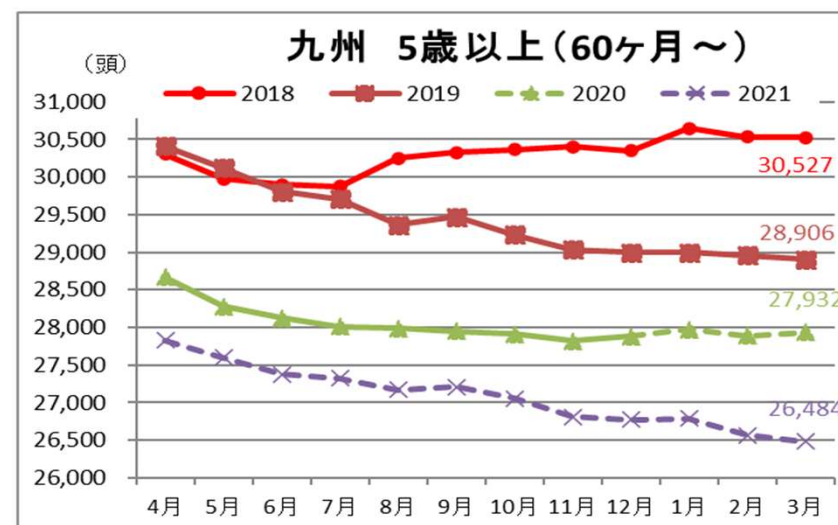
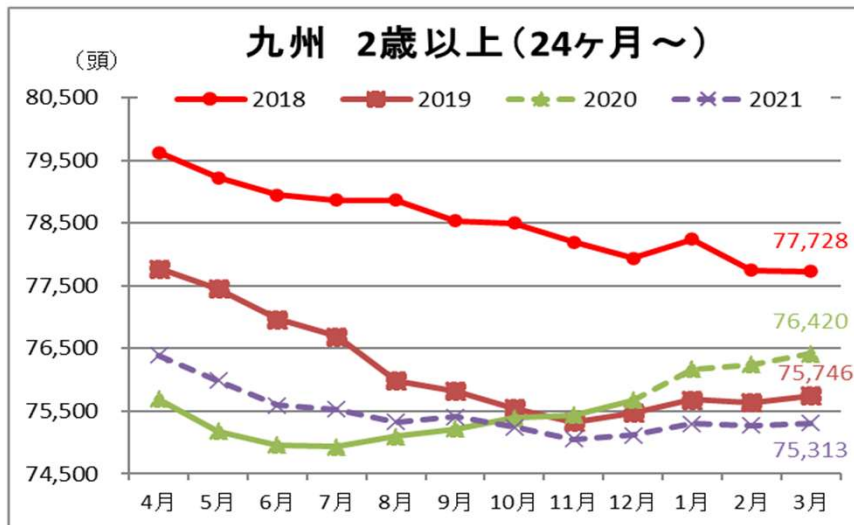
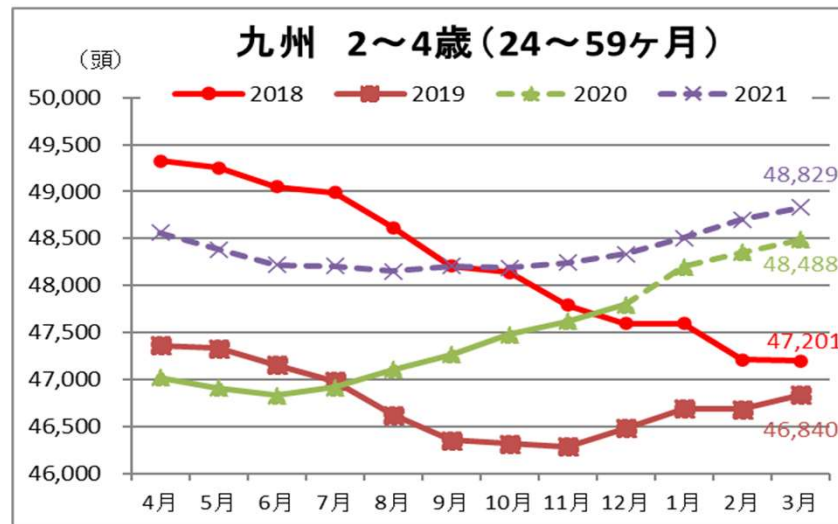
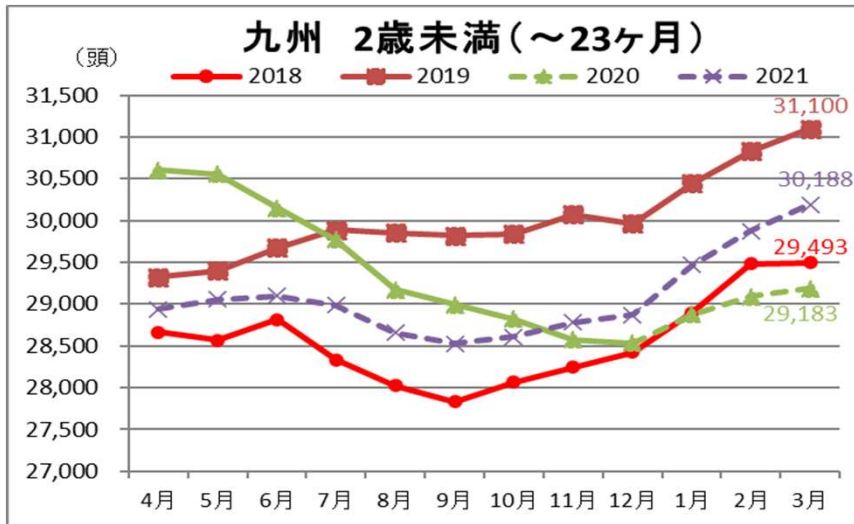
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 四国



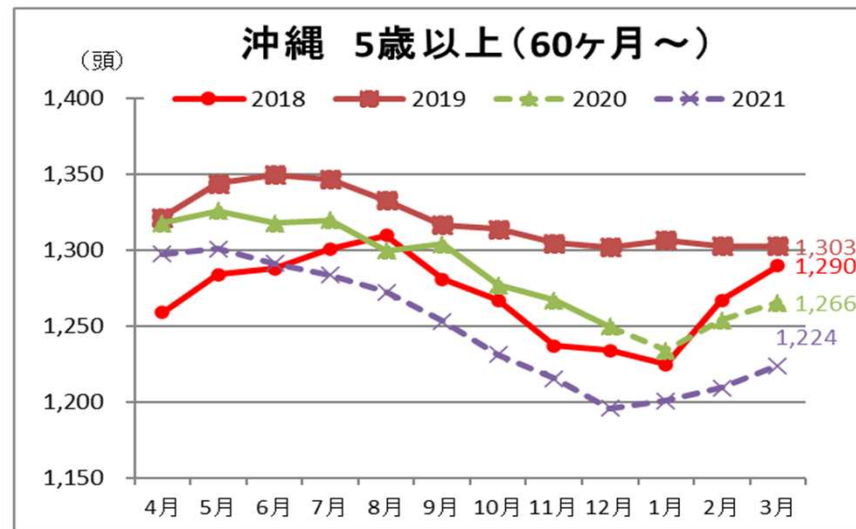
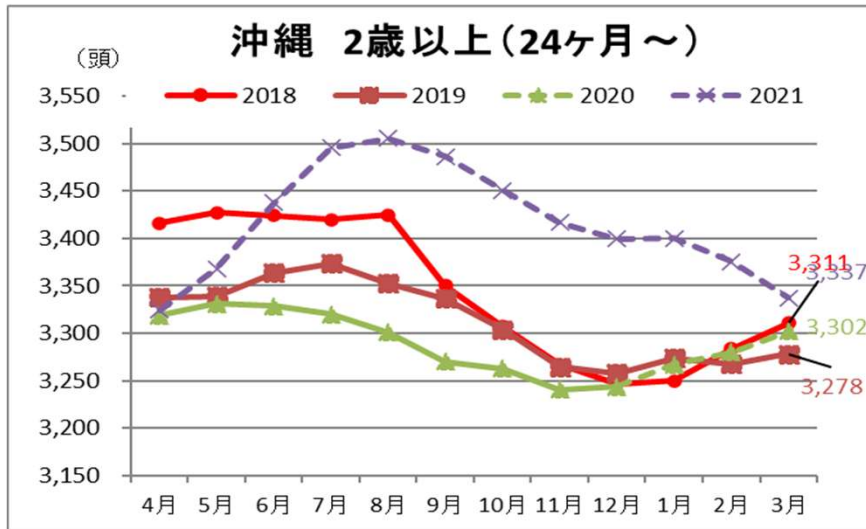
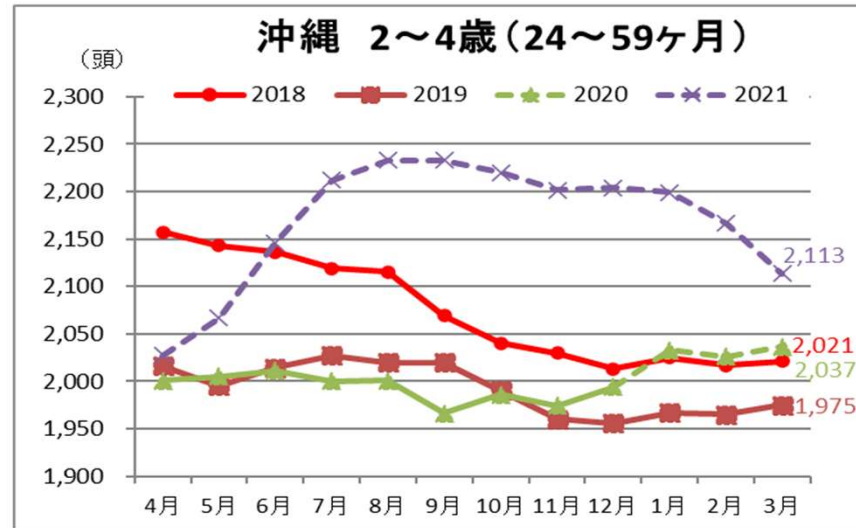
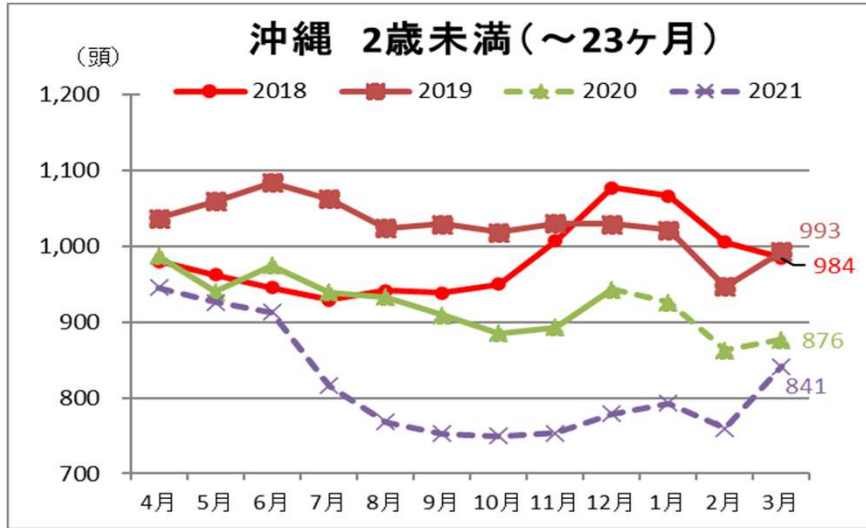
※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 九州



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆乳用雌牛頭数の推移（2018～21） 沖縄



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 速報値。2020年12月まで実績で以降はJミルク予測

◆地域別 乳用種の雌子牛出生率

年度	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
2015	55.3%	54.7%	60.8%	59.5%	55.9%	54.6%	56.0%	56.3%
2016	56.0%	56.6%	62.0%	61.6%	58.5%	55.9%	56.8%	58.5%
2017	60.5%	59.5%	63.8%	65.8%	60.5%	59.9%	57.5%	60.7%
2018	61.2%	61.5%	64.3%	68.2%	63.3%	60.8%	59.2%	62.3%
2019	61.1%	62.2%	68.2%	68.8%	66.4%	62.1%	61.1%	63.9%

※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

都府県63.2%に対し、北陸68.2%、東海68.8%と際立って高い。
 その他地域についても上昇傾向で推移している。

◆地域別 交雑種の割合（≡黒毛和種授精率）

年度	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
2015	47.0%	54.1%	57.5%	61.0%	58.6%	50.2%	64.3%	54.5%
2016	47.6%	53.8%	60.6%	61.4%	59.5%	51.1%	66.4%	55.1%
2017	46.6%	52.7%	56.1%	59.7%	55.8%	50.8%	64.9%	51.8%
2018	44.7%	51.2%	52.7%	58.9%	53.3%	49.6%	62.4%	49.9%
2019	45.0%	52.1%	54.2%	60.9%	55.2%	52.9%	62.2%	52.3%

※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

都府県52.5%に対し、東海60.9%、四国が62.2%と際立って高い。
一方、東北は50%を切っている。

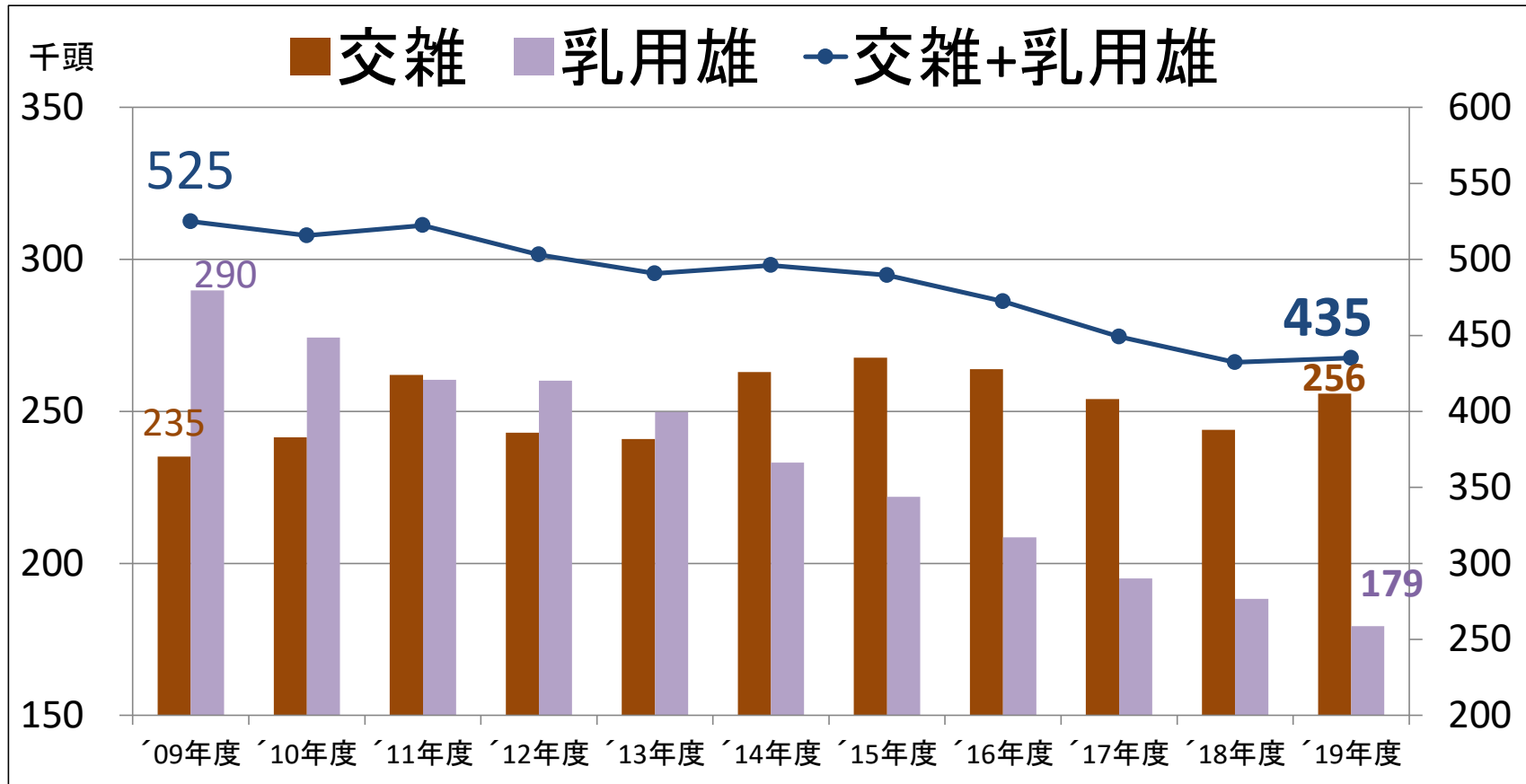
◆地域別 乳用雌牛1頭当たり乳量

地域	2020年度		
		平均差	前年比
都府県	8,379		101.0%
東北	7,878	-360	101.0%
関東	8,495	257	100.4%
北陸	7,999	-239	100.9%
東海	8,851	613	99.6%
近畿	8,482	244	101.8%
中国	8,824	586	101.3%
四国	8,696	458	102.8%
九州	8,235	-3	102.1%

※算出方法 Jミルク生乳生産見通し÷Jミルク乳用雌牛2歳以上頭数
 ※各地域の「平均差」とは、「都府県」との差を指す

都府県においても地域で乳量差がかなりある。

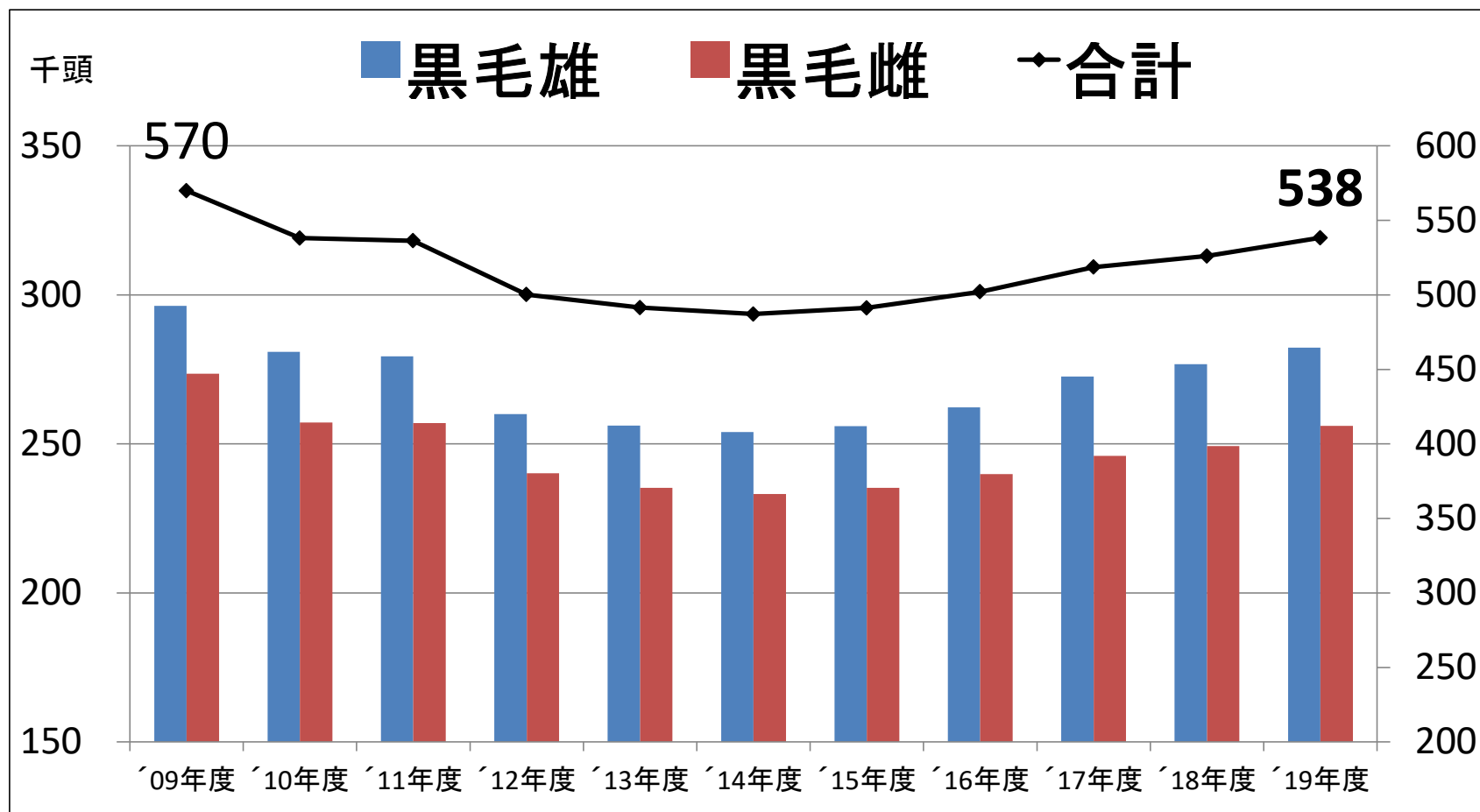
◆交雑種（雄雌）と乳用子牛（雄）の出生頭数



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

乳用種雄は減少の一途。交雑種も減少傾向であったが、19年度は増加。これらを「肉資源」と考えると減少基調で推移しており、10年間で約9万頭減少している。

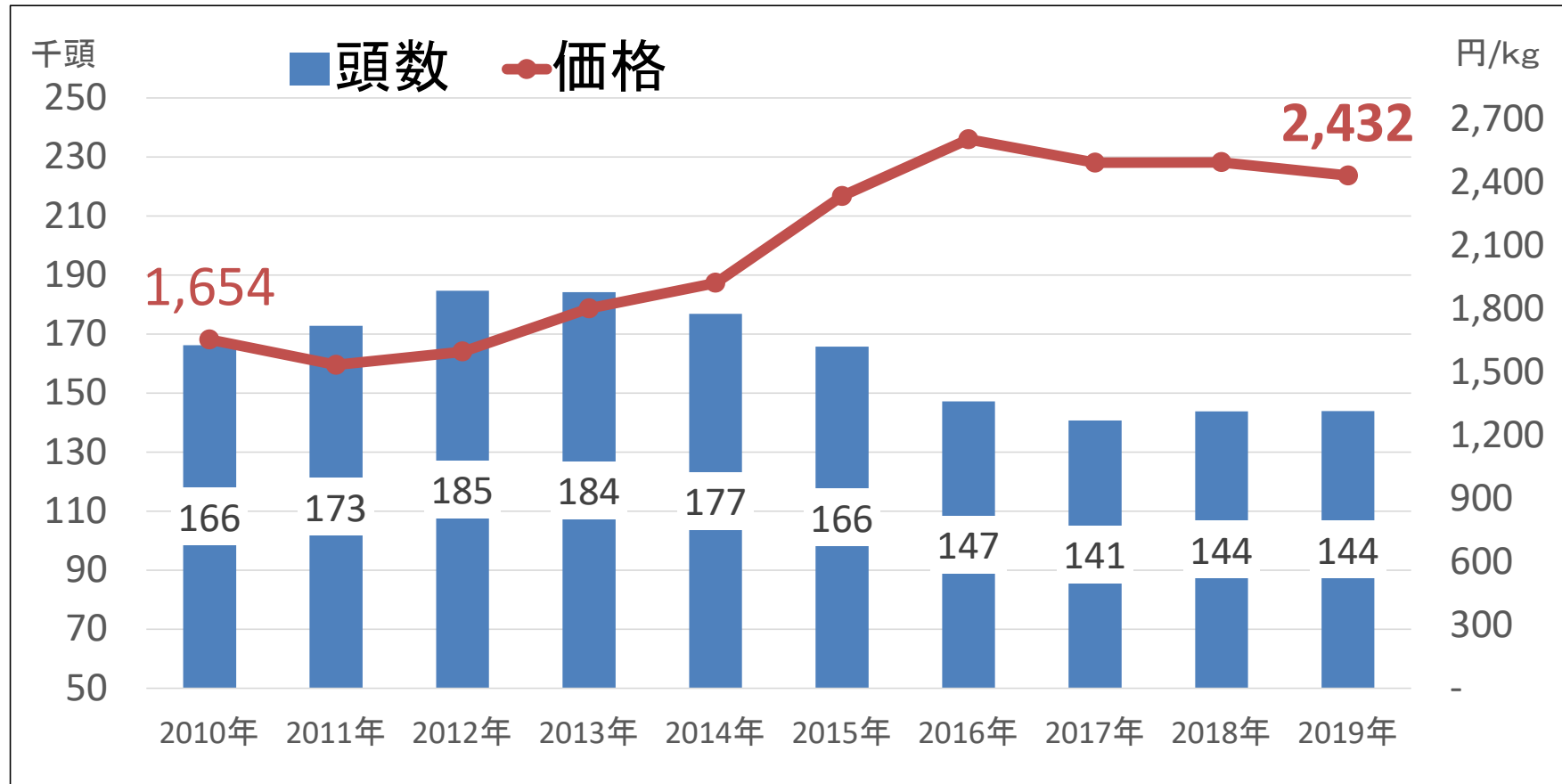
◆黒毛和種の出生頭数



※出典 家畜改良センター牛個体識別情報 確報値

黒毛和種はここ5年間増加傾向にあるが、10年間でみると約3万頭減少している。

◆枝肉価格動向（和牛）



※出典 農林水産省 畜産物流通調査（食肉中央卸売市場 和牛取引成立頭数と価格）

高止まりが続く。ここ4年間の成立頭数は横ばい。枝肉高値の影響は生体価格（初妊牛・素牛）にも及ぼす。

◆各指定団体のシェア推移

年度	全 国		ホクレン		都府県		東北生乳販連		北陸酪連		関東生乳販連	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
2016	96.4%	-0.1%	97.1%	-0.2%	95.5%	0.0%	94.2%	-0.2%	97.3%	-0.3%	95.6%	-0.7%
2017	96.1%	-0.3%	96.9%	-0.2%	95.1%	-0.4%	93.7%	-0.5%	97.1%	-0.2%	95.4%	-0.2%
2018	95.9%	-0.1%	96.6%	-0.3%	95.1%	0.0%	93.5%	-0.2%	97.1%	0.0%	95.2%	-0.2%
2019	95.2%	-0.7%	96.0%	-0.6%	94.3%	-0.8%	92.3%	-1.3%	96.9%	-0.2%	94.2%	-0.9%
2020	95.4%	0.1%	96.4%	0.4%	94.1%	-0.1%	91.9%	-0.3%	97.1%	0.1%	94.3%	0.1%

年度	東海酪連		近畿生乳販連		中国生乳販連		四国生乳販連		九州生乳販連		沖縄県酪	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
2016	98.2%	1.1%	91.0%	0.0%	96.0%	1.3%	94.0%	1.8%	96.5%	-0.2%	82.2%	-0.4%
2017	97.8%	-0.4%	90.7%	-0.2%	95.0%	-1.0%	94.1%	0.0%	95.9%	-0.5%	82.6%	0.4%
2018	98.0%	0.2%	90.5%	-0.2%	94.5%	-0.5%	94.3%	0.3%	96.2%	0.3%	89.7%	7.2%
2019	96.9%	-1.1%	90.4%	-0.1%	92.8%	-1.7%	94.7%	0.4%	96.3%	0.1%	87.6%	-2.1%
2020	96.4%	-0.5%	90.0%	-0.2%	93.4%	0.7%	94.5%	-0.2%	95.6%	-0.7%	89.6%	2.0%

※出典 農林水産省 牛乳乳製品統計、中央酪農会議 用途別販売実績。2020年度は11月まで。

2020年度11月末までで前年と比較すると、北海道+0.4ポイント、都府県
▲0.1ポイント。※2018年度改正畜安法が施行

◆生乳生産推移 エリア別

トン

年度	全国		北海道		都府県		東北		北陸		関東		東海		近畿		中国		四国		九州		沖縄		
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比		
1999	平成11年	8,513,035	0	3,666,716	0	4,846,319	0	830,128	0	162,958	0	1,549,802	0	569,819	0	295,973	0	386,662	0	195,399	0	815,185	0	40,393	0
2000	平成12年	8,414,523	98.8%	3,622,237	98.8%	4,792,286	98.9%	801,078	96.5%	159,418	97.8%	1,531,766	98.8%	558,696	98.0%	292,394	98.8%	386,662	100.0%	194,574	99.6%	824,635	101.2%	43,063	106.6%
2001	平成13年	8,311,848	98.8%	3,669,579	101.3%	4,642,269	96.9%	782,709	97.7%	154,293	96.8%	1,489,590	97.2%	540,724	96.8%	285,728	97.7%	368,409	95.3%	184,279	94.7%	795,604	96.5%	40,933	95.1%
2002	平成14年	8,379,969	100.8%	3,796,416	103.5%	4,583,553	98.7%	776,765	99.2%	149,768	97.1%	1,462,920	98.2%	529,693	98.0%	279,247	97.7%	363,607	98.7%	181,062	98.3%	800,918	100.7%	39,573	96.7%
2003	平成15年	8,404,999	100.3%	3,863,537	101.8%	4,541,462	99.1%	767,238	98.8%	146,274	97.7%	1,447,032	98.9%	523,926	98.9%	272,222	97.5%	362,108	99.6%	178,492	98.6%	805,511	100.6%	38,659	97.7%
2004	平成16年	8,284,746	98.6%	3,820,509	98.9%	4,464,237	98.3%	749,466	97.7%	138,882	94.9%	1,429,746	98.8%	513,814	98.1%	261,873	96.2%	351,883	97.2%	173,549	97.2%	805,939	100.1%	39,085	101.1%
2005	平成17年	8,292,696	100.1%	3,882,898	101.6%	4,409,798	98.8%	741,266	98.9%	136,963	98.6%	1,408,251	98.5%	503,403	98.0%	257,183	98.2%	348,858	99.1%	173,246	99.8%	803,508	99.7%	37,120	95.0%
2006	平成18年	8,090,754	97.6%	3,780,422	97.4%	4,310,332	97.7%	722,048	97.4%	134,105	97.9%	1,390,883	98.8%	496,597	98.6%	251,264	97.7%	345,432	99.0%	164,687	95.1%	770,996	96.0%	34,320	92.5%
2007	平成19年	8,024,247	99.2%	3,828,857	101.3%	4,195,390	97.3%	708,652	98.1%	126,877	94.6%	1,355,749	97.5%	474,198	95.5%	246,569	98.1%	339,682	98.3%	158,016	95.9%	752,985	97.7%	32,662	95.2%
2008	平成20年	7,945,110	99.0%	3,909,056	102.1%	4,036,054	96.2%	678,489	95.7%	121,351	95.6%	1,316,583	97.1%	453,593	95.7%	231,810	94.0%	330,777	97.4%	154,131	97.5%	720,056	95.6%	29,264	89.6%
2009	平成21年	7,881,390	99.2%	3,932,201	100.6%	3,949,189	97.8%	664,269	97.9%	115,930	95.5%	1,299,934	98.7%	444,498	98.0%	223,232	96.3%	320,910	97.0%	148,626	96.4%	703,316	97.7%	28,474	97.3%
2010	平成22年	7,631,304	96.8%	3,897,287	99.1%	3,734,017	94.6%	619,591	93.3%	107,983	93.1%	1,228,137	94.5%	422,951	95.2%	212,072	95.0%	309,209	96.4%	142,886	96.1%	663,411	94.3%	27,777	97.6%
2011	平成23年	7,533,851	98.7%	3,894,019	99.9%	3,639,832	97.5%	589,886	95.2%	102,410	94.8%	1,197,331	97.5%	413,813	97.8%	203,332	95.9%	303,278	98.1%	138,261	96.8%	663,932	100.1%	27,589	99.3%
2012	平成24年	7,607,356	101.0%	3,930,552	100.9%	3,676,804	101.0%	611,100	103.6%	101,528	99.1%	1,205,376	100.7%	414,664	100.2%	198,881	97.8%	306,444	101.0%	135,087	97.7%	675,489	101.7%	28,235	102.3%
2013	平成25年	7,447,032	97.9%	3,848,584	97.9%	3,598,448	97.9%	598,477	97.9%	97,857	96.4%	1,182,963	98.1%	404,119	97.5%	192,720	96.9%	299,713	97.8%	130,855	96.9%	663,749	98.3%	27,995	99.1%
2014	平成26年	7,330,871	98.4%	3,821,571	99.3%	3,509,300	97.5%	576,825	96.4%	93,666	95.7%	1,163,430	98.3%	391,823	97.0%	184,745	95.9%	288,162	96.1%	127,128	97.2%	656,839	99.0%	26,682	95.3%
2015	平成27年	7,407,326	101.0%	3,911,711	102.4%	3,495,615	99.6%	576,704	100.0%	91,119	97.3%	1,156,944	99.4%	382,823	97.7%	181,708	98.4%	291,705	101.2%	127,419	100.2%	660,493	100.6%	26,700	100.1%
2016	平成28年	7,342,475	99.1%	3,904,628	99.8%	3,437,847	98.3%	570,303	98.9%	86,807	95.3%	1,152,411	99.6%	373,960	97.7%	177,658	97.8%	286,374	98.2%	124,127	97.4%	640,495	97.0%	25,712	96.3%
2017	平成29年	7,290,458	99.3%	3,922,023	100.4%	3,368,435	98.0%	562,277	98.6%	82,343	94.9%	1,137,561	98.7%	363,441	97.2%	170,391	95.9%	283,843	99.1%	120,118	96.8%	624,112	97.4%	24,349	94.7%
2018	平成30年	7,282,275	99.9%	3,967,129	101.2%	3,315,146	98.4%	555,857	98.9%	78,302	95.1%	1,116,078	98.1%	349,227	96.1%	161,933	95.0%	289,763	102.1%	115,575	96.2%	624,861	100.1%	23,550	96.7%
2019	平成31年	7,362,737	101.1%	4,092,259	103.2%	3,270,478	98.7%	550,468	99.0%	75,091	95.9%	1,097,582	98.3%	339,287	97.2%	158,745	98.0%	298,559	103.0%	112,687	97.5%	614,559	98.4%	23,500	99.8%
2020見込	令和2年	7,438,056	101.0%	4,157,475	101.6%	3,280,581	100.3%	551,877	100.3%	74,742	99.5%	1,087,987	99.1%	332,578	98.0%	161,665	101.8%	314,052	105.2%	112,802	100.1%	622,019	101.2%	22,850	97.2%
2021見込	令和3年	7,505,793	100.9%	4,246,435	102.1%	3,259,358	99.4%	551,216	99.9%	72,511	97.0%	1,091,314	100.3%	326,236	98.1%	159,157	98.4%	317,801	101.2%	110,666	98.1%	612,146	98.4%	23,070	101.0%

※出典 牛乳製品統計。2020、2021年度はJミルク予測（1/29公表）

都府県の予測については、1本で予測しており、各地域予測数値の積上げと乖離が生じる

◆牛乳類生産量推移

年度	牛乳										加工乳・乳飲料								はっ酵乳		生乳使用率		牛乳・加工乳 成分調整牛乳・乳飲料			
	学乳		学乳以外		うち、業務用		うち、業務用以外		加工乳		うち、加工乳		うち、成分調整牛乳		乳飲料		前年比	前年差	前年比	前年差	前年比	前年差				
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比												
1999 平成11年	3,883,362	0	403,619	0	3,479,743	0	266,021	0.0%	3,213,722	0.0%	2,044,394	0	761,370	0	0	0.0%	0	0.0%	1,283,024	0	721,403	0	0	0	5,927,756	0
2000 平成12年	3,923,514	101.0%	395,750	98.1%	3,527,764	101.4%	268,681	101.0%	3,259,083	101.4%	1,839,824	90.0%	641,596	84.3%	0	0.0%	0	0.0%	1,198,228	93.4%	684,425	94.9%	35.67%	3.90%	5,763,338	97.2%
2001 平成13年	3,840,122	97.9%	395,856	100.0%	3,444,266	97.6%	271,368	101.0%	3,172,899	97.4%	1,787,774	97.2%	562,081	87.6%	0	0.0%	0	0.0%	1,225,693	102.3%	698,142	102.0%	35.69%	0.03%	5,627,896	97.6%
2002 平成14年	3,976,636	103.6%	388,278	98.1%	3,588,358	104.2%	274,081	101.0%	3,314,277	104.5%	1,626,941	91.0%	453,635	80.7%	0	0.0%	0	0.0%	1,173,306	95.7%	798,915	114.4%	36.63%	0.93%	5,603,577	99.6%
2003 平成15年	4,020,871	101.1%	387,218	99.7%	3,633,653	101.3%	275,718	100.6%	3,357,935	101.3%	1,632,951	100.4%	458,042	101.0%	301,948	0.0%	156,094	0.0%	1,174,909	100.1%	793,335	99.3%	33.68%	-2.95%	5,653,822	102.4%
2004 平成16年	3,926,680	97.7%	378,104	97.6%	3,548,576	97.7%	288,011	104.5%	3,260,565	97.1%	1,662,964	101.8%	477,690	104.3%	295,236	97.8%	182,454	116.9%	1,185,274	100.9%	782,546	98.6%	32.69%	-0.99%	5,589,644	98.9%
2005 平成17年	3,792,626	96.6%	381,807	101.0%	3,410,819	96.1%	290,121	100.7%	3,120,698	95.7%	1,677,066	100.8%	469,710	98.3%	277,756	94.1%	191,954	105.2%	1,207,356	101.9%	801,837	102.5%	31.31%	-1.38%	5,469,692	97.9%
2006 平成18年	3,679,015	97.0%	381,210	99.8%	3,297,805	96.7%	294,818	101.6%	3,002,987	96.2%	1,706,812	101.8%	446,271	95.0%	264,870	95.4%	181,401	94.5%	1,260,541	104.4%	849,741	106.0%	30.34%	-0.97%	5,385,827	98.5%
2007 平成19年	3,578,008	97.3%	378,787	99.4%	3,199,221	97.0%	311,790	105.8%	2,887,431	96.2%	1,764,776	103.4%	444,536	99.6%	241,881	91.3%	202,655	111.7%	1,320,240	104.7%	838,881	98.7%	29.52%	-0.82%	5,342,784	99.2%
2008 平成20年	3,462,463	96.8%	374,818	99.0%	3,087,645	96.5%	317,304	101.8%	2,770,341	95.9%	1,663,448	94.3%	455,522	102.5%	192,104	79.4%	263,418	130.0%	1,207,926	91.5%	805,239	96.0%	32.16%	2.64%	5,125,911	95.9%
2009 平成21年	3,116,850	90.0%	377,375	100.7%	2,739,475	88.7%	308,637	97.3%	2,430,838	87.7%	1,843,980	110.9%	662,239	145.4%	209,381	109.0%	452,858	171.9%	1,181,741	97.8%	819,252	101.7%	35.69%	3.52%	4,960,830	96.8%
2010 平成22年	3,048,024	97.8%	375,308	99.5%	2,672,716	97.6%	276,046	89.4%	2,396,670	98.6%	1,884,520	102.2%	669,110	101.0%	243,352	116.2%	425,758	94.0%	1,215,410	102.8%	836,922	102.2%	33.60%	-2.09%	4,932,544	99.4%
2011 平成23年	3,085,641	101.2%	372,509	99.3%	2,713,132	101.5%	293,383	106.3%	2,419,749	101.0%	1,870,753	99.3%	573,541	85.7%	190,104	78.1%	383,437	90.1%	1,297,212	106.7%	895,755	107.0%	30.76%	-2.84%	4,956,394	100.5%
2012 平成24年	3,047,404	98.8%	372,367	100.0%	2,675,037	98.6%	288,659	98.4%	2,386,378	98.6%	1,844,902	98.6%	499,612	87.1%	140,411	73.9%	359,201	93.7%	1,345,290	103.7%	987,772	110.3%	28.93%	-1.83%	4,892,306	98.7%
2013 平成25年	3,026,176	99.3%	368,911	99.1%	2,657,265	99.3%	288,345	99.9%	2,368,920	99.3%	1,841,954	99.8%	475,893	95.3%	127,598	90.9%	348,295	97.0%	1,366,061	101.5%	1,005,659	101.8%	17.92%	-0.68%	4,868,130	99.5%
2014 平成26年	2,994,450	99.0%	367,769	99.7%	2,626,681	98.8%	282,735	98.1%	2,343,946	98.9%	1,783,215	96.8%	460,855	96.8%	117,836	92.3%	343,019	98.5%	1,322,360	96.8%	1,005,530	100.0%	17.69%	-0.24%	4,777,665	98.1%
2015 平成27年	3,013,922	100.7%	361,941	98.4%	2,651,981	101.0%	292,936	103.6%	2,359,045	100.6%	1,743,875	97.8%	451,791	98.0%	102,888	87.3%	348,903	101.7%	1,292,084	97.7%	1,081,266	107.5%	18.12%	0.43%	4,757,797	99.6%
2016 平成28年	3,059,798	101.5%	361,848	100.0%	2,697,950	101.7%	293,900	100.3%	2,404,050	101.9%	1,669,397	95.7%	443,075	98.1%	100,456	97.6%	342,619	98.2%	1,226,322	94.9%	1,090,542	100.9%	18.37%	0.25%	4,729,195	99.4%
2017 平成29年	3,094,681	101.1%	358,267	99.0%	2,736,414	101.4%	302,787	103.0%	2,433,627	101.2%	1,604,066	96.1%	439,756	99.3%	92,987	92.6%	346,769	101.2%	1,164,310	94.9%	1,074,302	98.5%	17.14%	-1.22%	4,698,747	99.4%
2018 平成30年	3,153,568	101.9%	356,068	99.4%	2,797,500	102.2%	313,798	103.6%	2,483,702	102.1%	1,522,950	94.9%	409,176	93.0%	100,082	107.6%	309,094	89.1%	1,113,774	95.7%	1,061,030	98.8%	17.58%	0.43%	4,676,518	99.5%
2019 平成31年	3,158,800	100.2%	329,345	92.5%	2,829,455	101.1%	317,554	101.2%	2,511,901	101.1%	1,548,859	101.7%	409,193	100.0%	126,270	126.2%	282,923	91.5%	1,139,666	102.3%	1,033,169	97.4%	18.11%	0.53%	4,707,659	100.7%
2020 令和2年	3,193,796	101.1%	325,928	99.0%	2,867,868	101.4%	280,002	88.2%	2,587,865	103.0%	1,458,770	94.2%	385,637	94.2%	108,658	86.1%	276,979	97.9%	1,073,133	94.2%	1,057,337	102.3%	18.17%	0.24%	4,652,565	98.8%
2021 令和3年	3,224,327	101.0%	352,075	108.0%	2,872,253	100.2%	291,045	103.9%	2,581,208	99.7%	1,437,650	98.6%	380,946	98.8%	108,588	99.9%	272,359	98.3%	1,056,704	98.5%	1,060,664	100.3%	18.18%	0.01%	4,661,977	100.2%

※出典 牛乳乳製品統計。2020、2021年度はJミルク予測（1/29公表）

◆用途別処理推移

千トン

年度	生乳生産量							自家消費量		生乳供給量							乳製品向								
	北海道		都府県			飲用牛乳等向				牛乳等向		その他向			加工原料乳向(認定ベース)										
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比							
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比							
1999	平成11年	8,513.0	0.0%	3,666.7	0.0%	4,846.3	0.0%	103.5	0.0%	8,409.5	0.0%	4,939	0.0%				3,470.4	0.0%	2,309.5	0.0%	299.4	0.0%	861.5	0.0%	
2000	平成12年	8,414.5	98.8%	3,622.2	98.8%	4,792.3	98.8%	104.0	98.8%	8,310.5	98.8%	5,003	98.8%				3,307.3	98.8%	2,124.5	98.8%	292.7	98.8%	890.1	98.8%	
2001	平成13年	8,311.8	98.8%	3,669.6	98.8%	4,642.3	98.8%	92.0	98.8%	8,219.9	98.8%	4,903	98.8%				3,316.6	98.8%	2,090.0	98.8%	304.6	98.8%	922.0	98.8%	
2002	平成14年	8,380.0	100.8%	3,796.4	100.8%	4,583.6	100.8%	88.5	100.8%	8,291.5	100.8%	5,046	100.8%				3,245.4	100.8%	2,047.5	100.8%	283.5	100.8%	914.4	100.8%	
2003	平成15年	8,405.0	100.3%	3,863.5	100.3%	4,541.5	100.3%	85.3	100.3%	8,319.7	100.3%	5,018	100.3%				3,301.7	100.3%	2,114.9	100.3%	305.7	100.3%	881.2	100.3%	
2004	平成16年	8,284.7	98.6%	3,820.5	98.6%	4,464.2	98.6%	81.3	98.6%	8,203.4	98.6%	4,902	98.6%				3,301.4	98.6%	2,095.7	98.6%	309.5	98.6%	896.2	98.6%	
2005	平成17年	8,292.7	100.1%	3,882.9	100.1%	4,409.8	100.1%	81.8	100.1%	8,210.9	100.1%	4,739	100.1%				3,472.2	100.1%	2,182.2	100.1%	330.3	100.1%	959.7	100.1%	
2006	平成18年	8,090.8	97.6%	3,780.4	97.6%	4,310.3	97.6%	81.5	97.6%	8,009.2	97.6%	4,620	97.6%				3,389.0	97.6%	2,033.3	97.6%	338.6	97.6%	1,017.1	97.6%	
2007	平成19年	8,024.2	99.2%	3,828.9	99.2%	4,195.4	99.2%	83.0	99.2%	7,941.3	99.2%	4,508	99.2%				3,433.1	99.2%	1,961.4	99.2%	379.0	99.2%	1,092.6	99.2%	
2008	平成20年	7,945.1	99.0%	3,909.1	99.0%	4,036.1	99.0%	79.6	99.0%	7,865.5	99.0%	4,480	99.0%	4,414.8	97.9%	65.5	3,385.2	99.0%	1,844.0	99.0%	441.2	99.0%	1,100.0	99.0%	
2009	平成21年	7,881.4	99.2%	3,932.2	99.2%	3,949.2	99.2%	76.0	99.2%	7,805.4	99.2%	4,266	99.2%	4,218.6	95.6%	47.8	72.9%	3,539.1	99.2%	2,032.3	99.2%	442.2	99.2%	1,064.6	99.2%
2010	平成22年	7,631.3	96.8%	3,897.3	96.8%	3,734.0	96.8%	70.3	96.8%	7,561.0	96.8%	4,155	96.8%	4,109.8	97.4%	45.3	94.9%	3,405.9	96.8%	1,797.2	96.8%	468.9	96.8%	1,139.9	96.8%
2011	平成23年	7,533.9	98.7%	3,894.0	98.7%	3,639.8	98.7%	63.6	98.7%	7,470.2	98.7%	4,148	98.7%	4,082.9	99.3%	65.1	143.7%	3,322.2	98.7%	1,631.8	98.7%	467.0	98.7%	1,223.4	98.7%
2012	平成24年	7,607.4	101.0%	3,930.6	101.0%	3,676.8	101.0%	58.6	101.0%	7,548.7	101.0%	4,072	101.0%	4,010.7	98.2%	61.1	93.9%	3,476.9	101.0%	1,745.2	101.0%	459.8	101.0%	1,272.0	101.0%
2013	平成25年	7,447.0	97.9%	3,848.6	97.9%	3,598.4	97.9%	56.9	97.9%	7,390.1	97.9%	4,011	97.9%	3,964.6	98.9%	46.5	76.0%	3,379.1	97.9%	1,603.0	97.9%	478.3	97.9%	1,297.8	97.9%
2014	平成26年	7,330.9	98.4%	3,821.6	98.4%	3,509.3	98.4%	59.5	98.4%	7,271.4	98.4%	3,965	98.4%	3,910.3	98.6%	54.3	116.9%	3,306.8	98.4%	1,537.3	98.4%	462.4	98.4%	1,307.1	98.4%
2015	平成27年	7,407.3	101.0%	3,911.7	101.0%	3,495.6	101.0%	55.6	101.0%	7,351.8	101.0%	4,012	101.0%	3,953.2	101.1%	58.6	107.8%	3,340.0	101.0%	1,636.4	101.0%	429.6	101.0%	1,273.9	101.0%
2016	平成28年	7,342.5	99.1%	3,904.6	99.1%	3,437.8	99.1%	51.3	99.1%	7,291.2	99.1%	4,053	99.1%	3,989.5	100.9%	63.9	109.1%	3,237.8	99.1%	1,548.1	99.1%	424.9	99.1%	1,264.8	99.1%
2017	平成29年	7,290.5	99.3%	3,922.0	99.3%	3,368.4	99.3%	49.1	99.3%	7,241.3	99.3%	4,073	99.3%	3,984.0	99.9%	88.9	139.2%	3,168.4	99.3%	1,499.8	99.3%	415.0	99.3%	1,253.6	99.3%
2018	平成30年	7,282.3	99.9%	3,967.1	99.9%	3,315.1	99.9%	47.8	99.9%	7,234.5	99.9%	4,083	99.9%	4,006.1	100.6%	76.4	85.9%	3,151.9	99.9%	1,484.3	99.9%	402.2	99.9%	1,265.5	99.9%
2019	平成31年	7,362.7	101.1%	4,092.3	103.2%	3,270.5	98.7%	44.5	93.0%	7,318.3	101.2%	4,075	99.8%	3,997.2	99.8%	78.2	102.4%	3,242.9	102.9%	1,594.4	107.4%	403.2	100.2%	1,245.3	98.4%
2020	令和2年	7,438.1	101.0%	4,157.5	101.6%	3,280.6	100.3%	44.5	100.0%	7,393.6	101.0%	4,082	100.2%	4,021.8	100.6%	60.2	76.9%	3,311.6	102.1%	1,701.1	106.7%	409.0	101.5%	1,201.5	96.5%
2021	令和3年	7,505.8	100.9%	4,246.4	102.1%	3,259.4	99.4%	44.9	101.0%	7,460.9	100.9%	4,107	100.6%	4,046.4	100.6%	60.2	100.0%	3,354.3	101.3%	1,711.7	100.6%	410.5	100.4%	1,232.1	102.6%

※出典 牛乳乳製品統計。2020、2021年度はJミルク予測（1/29公表）

◆都府県 生乳需給推移

千トン

年度	生乳供給量 A		飲用牛乳等向 B		牛乳等向		その他乳製品向 C		A-B-C	移入量 (必要量)		うち全農 E		うちその他 D-E		移出量	脱脂粉乳・ バター等向		
		前年比		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比			前年比	
1999	平成11年	4,790.9	0.0%	4,534.0	0.0%			213.0	0.0%	43.8	470	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	21.2	492.3	0.0%
2000	平成12年	4,738.8	98.9%	4,578.5	101.0%			210.5	98.8%	-50.2	486	103.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	26.3	409.2	83.1%
2001	平成13年	4,588.7	96.8%	4,476.6	97.8%			208.0	98.8%	-95.9	462	95.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	13.8	352.5	86.1%
2002	平成14年	4,531.8	98.8%	4,573.3	102.2%			219.2	105.4%	-260.6	528	114.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	3.2	263.9	74.9%
2003	平成15年	4,491.8	99.1%	4,514.9	98.7%			201.6	92.0%	-224.7	526	99.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	2.0	298.8	113.2%
2004	平成16年	4,416.0	98.3%	4,368.3	96.8%			184.2	91.4%	-136.5	476	90.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	4.3	335.3	112.2%
2005	平成17年	4,364.0	98.8%	4,199.1	96.1%			197.1	107.0%	-32.2	416	87.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	3.2	380.4	113.4%
2006	平成18年	4,266.5	97.8%	4,075.2	97.1%			195.9	99.4%	-4.7	369	88.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	2.9	361.6	95.1%
2007	平成19年	4,150.7	97.3%	3,967.8	97.4%			199.8	102.0%	-16.9	366	99.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	2.9	346.5	95.8%
2008	平成20年	3,993.6	96.2%	3,941.3	99.3%	3,872.5	97.6%	122.9	61.5%	-70.6	386	105.3%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.7	313.6	90.5%
2009	平成21年	3,907.6	97.8%	3,797.6	96.4%	3,734.4	96.4%	117.8	95.9%	-7.9	359	93.1%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.7	350.5	111.8%
2010	平成22年	3,695.4	94.6%	3,681.1	96.9%	3,634.3	97.3%	118.4	100.5%	-104.1	390	108.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.3	285.4	81.4%
2011	平成23年	3,609.1	97.7%	3,601.0	97.8%	3,535.2	97.3%	110.0	92.9%	-101.8	373	95.7%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.3	271.0	95.0%
2012	平成24年	3,647.4	101.1%	3,541.4	98.3%	3,473.7	98.3%	112.0	101.8%	-5.9	331	88.7%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	1.0	324.2	119.6%
2013	平成25年	3,570.6	97.9%	3,495.5	98.7%	3,434.9	98.9%	106.5	95.1%	-31.4	324	98.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.8	292.2	90.1%
2014	平成26年	3,481.2	97.5%	3,423.3	97.9%	3,363.9	97.9%	106.8	100.3%	-48.9	324	99.7%	328.7	0.0%	-5.1	0.0%	1.4	273.3	93.5%
2015	平成27年	3,465.9	99.6%	3,436.0	100.4%	3,388.1	100.7%	106.0	99.2%	-76.0	328	101.3%	326.8	99.4%	1.0	-18.9%	0.9	250.8	91.8%
2016	平成28年	3,409.6	98.4%	3,467.0	100.9%	3,424.4	101.1%	101.2	95.4%	-158.5	389	118.6%	373.1	114.2%	15.6	1609.6%	0.5	229.7	91.6%
2017	平成29年	3,341.7	98.0%	3,504.9	101.1%	3,437.3	100.4%	74.5	73.6%	-237.7	451	116.0%	419.1	112.3%	31.7	203.2%	3.1	210.0	91.4%
2018	平成30年	3,289.7	98.4%	3,509.9	100.1%	3,445.8	100.2%	71.2	95.6%	-291.5	492	109.2%	446.2	106.5%	46.0	145.1%	0.0	200.7	95.6%
2019	平成31年	3,249.4	98.8%	3,504.5	99.8%	3,440.5	99.8%	67.7	95.1%	-322.8	529	107.5%	463.6	103.9%	65.4	142.4%	0.0	206.2	102.7%
2020	令和2年	3,259.2	100.3%	3,514.7	100.3%	3,451.6	100.3%	63.6	93.9%	-319.1	536	101.2%	465.8	100.5%	69.8	106.7%	0.0	216.5	105.0%
2021	令和3年	3,238.1	99.4%	3,540.9	100.7%	3,477.8	100.8%	65.9	103.6%	-368.7	561	104.7%	495.1	106.3%	65.9	94.3%	0.0	192.2	88.8%

※出典 牛乳乳製品統計。2020、2021年度はJミルク予測（1/29公表）

◆脱脂粉乳需給推移

トン

年度	生産量		輸入 売渡し										出回り量		過不足 (A+B-C)	在庫量 (機構+民間) 47,038			
	(A)		(B)		機構						その他		(C)			(A)	月数	前年比	
	前年比	前年比	前年比	前年比	うち乳業		うち非乳業				前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
					#DIV/0!	前年比	#DIV/0!	前年比	#DIV/0!	前年比									#DIV/0!
1999	平成11年	196,556		16,877		16,739						138		215,875		-2,442	44,596		
2000	平成12年	184,650	93.9%	16,617	98.5%	16,427	98.1%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	190	137.9%	188,916	87.5%	12,351	56,947	3.2	127.7%
2001	平成13年	177,855	96.3%	10,664	64.2%	10,246	62.4%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	418	219.7%	170,454	90.2%	18,066	75,013	4.8	131.7%
2002	平成14年	178,905	100.6%	447	4.2%	0	0.0%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	447	106.9%	173,563	101.8%	5,789	80,802	5.7	107.7%
2003	平成15年	184,372	103.1%	422	94.4%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	422	94.4%	172,373	99.3%	12,421	93,223	6.4	115.4%
2004	平成16年	182,656	99.1%	80	18.9%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	80	18.9%	187,955	109.0%	-5,219	88,004	6.1	94.4%
2005	平成17年	189,737	103.9%	51	64.4%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	51	64.4%	202,502	107.7%	-12,714	75,290	4.8	85.6%
2006	平成18年	177,036	93.3%	3,378	6589.8%	3,289	#DIV/0!	3,289	#DIV/0!	0	#DIV/0!	89	174.4%	187,364	92.5%	-6,950	68,340	4.0	90.8%
2007	平成19年	171,441	96.8%	55	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	#DIV/0!	55	61.0%	197,040	105.2%	-25,545	42,796	2.7	62.6%
2008	平成20年	155,282	90.6%	457	838.5%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	457	838.5%	155,443	78.9%	295	43,091	2.6	100.7%
2009	平成21年	170,179	109.6%	6,269	1371.7%	6,138	#DIV/0!	3,029	#DIV/0!	3,109	#DIV/0!	131	28.6%	149,854	96.4%	26,593	69,684	5.4	161.7%
2010	平成22年	148,786	87.4%	1,115	17.8%	1,009	16.4%	108	3.6%	855	27.5%	106	80.8%	160,885	107.4%	-10,985	58,699	4.7	84.2%
2011	平成23年	134,912	90.7%	84	7.5%	0	0.0%	46	42.3%	0	0.0%	84	79.6%	146,075	90.8%	-11,080	47,620	3.6	81.1%
2012	平成24年	141,431	104.8%	564	669.9%	0	#DIV/0!	0	0.0%	0	#DIV/0!	564	669.9%	140,156	95.9%	1,839	49,459	4.1	103.9%
2013	平成25年	128,818	91.1%	5,048	895.7%	4,970	#DIV/0!	2,892	#DIV/0!	2,078	#DIV/0!	78	13.9%	143,060	102.1%	-9,194	40,264	3.4	81.4%
2014	平成26年	120,922	93.9%	23,775	470.9%	22,397	450.6%	17,232	595.8%	5,164	248.6%	1,378	1756.6%	138,419	96.8%	6,278	46,542	3.9	115.6%
2015	平成27年	130,184	107.7%	15,882	66.8%	15,218	67.9%	10,161	59.0%	5,097	98.7%	664	48.2%	136,188	98.4%	9,877	56,419	4.9	121.2%
2016	平成28年	123,500	94.9%	4,999	31.5%	3,908	25.7%	7,853	77.3%	997	19.6%	1,091	164.3%	136,571	100.3%	-8,072	48,348	4.3	85.7%
2017	平成29年	121,581	98.4%	35,668	713.5%	33,207	849.7%	28,537	363.4%	4,670	468.6%	2,461	225.6%	138,840	101.7%	18,409	66,757	5.9	138.1%
2018	平成30年	120,065	98.8%	16,009	44.9%	15,277	46.0%	5,540	19.4%	9,737	208.5%	732	29.7%	137,382	99.0%	-1,308	65,449	5.7	98.0%
2019	平成31年	130,497	108.7%	8,090	50.5%	7,473	48.9%	2,847	51.4%	4,751	48.8%	617	84.3%	127,765	93.0%	10,821	76,271	6.7	116.5%
2020	令和2年	136,475	104.6%	2,973	36.8%	2,263	30.3%	375	16.1%	1,887	36.7%	711	115.2%	127,492	99.8%	11,956	88,227	8.3	115.7%
2021	令和3年	139,528	106.9%	1,845	22.8%	1,512	20.2%	0	0.0%	1,512	29.4%	333	53.9%	128,061	100.2%	13,313	89,583	8.4	117.5%

※出典 牛乳乳製品統計。2020、2021年度はJミルク予測（1/29公表）

◆バター需給推移

トン

年度	生産量		輸入 売渡し										出回り量		過不足 (A+B-C)	在庫量 (機構+民間) 31,952			
	(A)		(B)		機構				うち乳業		うち非乳業		その他			(C)		(A)	月数
		前年比		前年比		前年比	#DIV/0!	前年比	#DIV/0!	前年比	#DIV/0!	前年比		前年比					
1999	平成11年	89,562		121		0						121		83,438		6,244	38,196		
2000	平成12年	79,925	89.2%	106	87.5%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	106	87.5%	83,089	99.6%	-3,059	35,137	5.1	92.0%
2001	平成13年	83,172	104.1%	132	124.4%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	132	124.4%	90,893	109.4%	-7,589	27,548	4.0	78.4%
2002	平成14年	79,598	95.7%	6,394	4862.1%	6,311	#DIV/0!	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	83	63.4%	89,795	98.8%	-3,803	23,745	3.1	86.2%
2003	平成15年	81,566	102.5%	10,554	165.1%	10,453	165.6%	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	101	121.0%	89,143	99.3%	2,977	26,722	3.6	112.5%
2004	平成16年	80,555	98.8%	7,886	74.7%	7,764	74.3%	6,387	#DIV/0!	1,377	#DIV/0!	122	121.1%	89,400	100.3%	-959	25,763	3.5	96.4%
2005	平成17年	85,467	106.1%	4,519	57.3%	4,422	57.0%	4,010	62.8%	412	29.9%	97	79.3%	84,709	94.8%	5,277	31,040	4.2	120.5%
2006	平成18年	78,001	91.3%	3,782	83.7%	3,675	83.1%	2,824	70.4%	604	146.5%	107	110.9%	89,657	105.8%	-7,873	23,167	3.3	74.6%
2007	平成19年	75,058	96.2%	12,279	324.6%	12,156	330.8%	10,075	356.7%	2,151	356.1%	123	114.8%	91,119	101.6%	-3,781	19,386	2.6	83.7%
2008	平成20年	71,898	95.8%	14,841	120.9%	14,280	117.5%	10,948	108.7%	3,509	163.2%	561	454.9%	78,053	85.7%	8,687	28,072	3.7	144.8%
2009	平成21年	81,972	114.0%	116	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	116	20.7%	77,602	99.4%	4,486	32,558	5.0	116.0%
2010	平成22年	70,119	85.5%	1,817	1565.5%	1,643	#DIV/0!	50	#DIV/0!	1,593	#DIV/0!	174	149.6%	83,888	108.1%	-11,953	20,606	3.2	63.3%
2011	平成23年	63,071	89.9%	13,758	757.4%	13,584	826.8%	8,080	16315.7%	5,503	345.4%	174	100.2%	78,351	93.4%	-1,522	19,084	2.7	92.6%
2012	平成24年	70,118	111.2%	9,558	69.5%	9,391	69.1%	4,199	52.0%	5,192	94.3%	167	96.1%	75,291	96.1%	4,386	23,469	3.6	123.0%
2013	平成25年	64,302	91.7%	3,655	38.2%	3,482	37.1%	765	18.2%	2,717	52.3%	173	103.5%	74,110	98.4%	-6,153	17,317	2.8	73.8%
2014	平成26年	61,652	95.9%	13,226	361.8%	12,931	371.3%	7,694	1005.6%	5,237	192.7%	295	170.7%	74,362	100.3%	517	17,833	2.9	103.0%
2015	平成27年	66,295	107.5%	13,131	99.3%	12,743	98.5%	5,099	66.3%	7,644	146.0%	388	131.2%	75,210	101.1%	4,217	22,050	3.6	123.6%
2016	平成28年	63,583	95.9%	12,062	91.9%	11,777	92.4%	5,104	100.1%	6,673	87.3%	285	73.6%	73,214	97.3%	2,431	24,481	3.9	111.0%
2017	平成29年	59,996	94.4%	9,430	78.2%	9,116	77.4%	4,246	83.2%	4,870	73.0%	313	109.7%	70,664	96.5%	-1,238	23,243	3.8	94.9%
2018	平成30年	59,827	99.7%	18,457	195.7%	18,093	198.5%	6,026	141.9%	11,089	227.7%	364	116.2%	77,902	110.2%	382	23,625	4.0	101.6%
2019	平成31年	65,494	109.5%	21,476	116.4%	21,265	117.5%	7,016	116.4%	14,043	126.6%	211	58.0%	81,845	105.1%	5,125	28,750	4.4	121.7%
2020	令和2年	70,508	107.7%	12,966	60.4%	12,531	58.9%	2,963	42.6%	9,568	62.4%	436	206.5%	76,924	94.0%	6,550	35,300	5.2	122.8%
2021	令和3年	71,514	109.2%	13,499	62.9%	13,052	61.4%	2,553	36.7%	10,807	70.5%	447	211.9%	74,211	90.7%	10,802	39,552	5.8	137.6%

※出典 牛乳乳製品統計。2020、2021年度はJミルク予測（1/29公表）